

# 植原悦二郎著作目録

松田 義男 編

改訂 2019 年 7 月 12 日

2005 年 4 月 21 日

## 目次

1. 著書
2. 共著
3. 評論等(新聞・雑誌掲載)
4. 帝国議会議事速記録
5. 国会会議録

## 凡例

- ・著作の形態にしたがって、「1.著書」、「2.共著」、「3.評論等(新聞・雑誌掲載)」、「4.帝国議会議事速記録」、「5.国会会議録」に区分し、それぞれ年次順に配列した。
- ・新聞・雑誌掲載著作は、表題、掲載紙誌、掲載巻号数、掲載月日の順に記した。ただし、日刊新聞の号数は省略した。
- ・新聞・雑誌における常設欄・特集・アンケートなどは[ ]に示した。特集・アンケートへの寄稿で無題のものは、特集・アンケート表題を著作表題とし、[ ]内に「 」で示した。
- ・連載評論で、初回とその後で表題が異なる場合、原則として初回の表題を採用し、初回掲載に一括して記した。
- ・雑誌掲載評論で、目次と本文で表題が異なる場合、原則として本文の表題を採用した。
- ・収録書は、下記の略号を使用し、[ ]に注記した。  
『植原悦二郎と日本国憲法 そのリベラリストとしての実像』(植原悦二郎十三回忌記念出版刊行会、1974年)→『植原悦二郎と日本国憲法』  
『日本憲法史叢書 9 植原悦二郎集』(信山社出版、2005年)→『植原悦二郎集』
- ・その他、適宜、注記事項を[ ]に示した。
- ・なお、『国家及国家学』第1巻第2号～12号、第2巻第1号～4号、第3巻第4、5号に「EU生」(E、U、生、E.U.生)署名の18篇がある。EUは植原悦二郎の頭文字と思われるが、採録は留保している。

本著作目録の作成に際しては、国立国会図書館、早稲田大学中央図書館、慶應義塾大学三田メディアセンター、大阪市立大学総合学術センター、高野山大学図書館、関西大学総合図書館、神戸大学附属図書館、関西学院大学図書館、西南学院大学図書館、東京大学総合図書館・同法学部附属近代法政資料センター明治新聞雑誌文庫、日本近代文学館、明治大学中央図書館、政策研究大学院大学図書館、京都府立総合資料館、大阪府立中央図書館、松本市立中央図書館、県立長野図書館、岡山大学附属図書館、岡山市立中央図書館、成田山仏教図書館、金光図書館より資料閲覧の便宜を得ました。付記して謝意を表します。

## 1. 著書

*The political development of Japan, 1867-1909*, (London, Constable), 1910 < 英文署名は George Etsuziro Uyehara > [第3篇 Working of the constitution 第1章 The Constitutional Monarchy を『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

『通俗立憲代議政体論』博文館、1912年2月22日 [『植原悦二郎集』収録]

『日本民権発達史』政教社、1916年11月23日 [付録に既発表論文3編を収録。序および付録を『植原悦二郎と日本国憲法』、序および第8章、付録から「山県公と立憲政治」を『植原悦二郎集』収録]

『現代英国の産業革命』[訳書]政教社、1916年11月30日 [原著: G. Lowes Dickinson, *justice and liberty*]

『憲政の進路 三政党宣言及び党首演説の解剖と憲法の真義』『日本及日本人』政教社、1917年2月8日

『犬養毅とロイド・ジョージ』猶興社、1917年8月15日 [書下ろし評論「犬養毅とロイド・ジョージ」、「臨時外交調査会と憲法問題」2篇と既発表評論「臨時外交調査会と我憲政」、「臨時外交調査会と国民の態度」を収録。「犬養毅とロイド・ジョージ」を『植原悦二郎集』収録]

『デモクラシーと日本の改造』中外印刷工業、1919年11月21日 [書下ろし評論「デモクラシー」(全4章)、「日本の改造」を収録。「デモクラシー」序・第1章・第2章を『植原悦二郎集』収録]

『欧州戦後の資本と労働』[訳書]精文館書店、1920年3月15日 [原著: Frank A. Vanderlip, *What happened to Europe*, 1919]

『現代民主政治』[共訳書]日本読書協会事務所、1921年10月1日 原著: James Bryce, *Modern Democracies*, 1921]

『支那みやげと普選に直面せんとする私』(非売品)、1926年2月10日

『支那現状の解剖』東海堂書店、1928年11月29日

『経済的破滅か振興か』1930年11月9日 [本文目次では、「浜口内閣施政の批判と政友会の政策」と副題]

『帝国内外の情勢』(非売品)、1934年10月10日 [「付録」として「政党解消論と立憲政治」、「独裁政治と議会政治」を収録]

『電力国営案を繞りて 時局座談会』電気日報社、1936年9月28日 [座談会: 矢野恒太、渡邊鏡藏、龜井貫一郎、猪股洪清、石山賢吉、益田元亮、近藤賢二、三浦覚玄]

『憲法擁護と大政翼賛会 赤化防止と議会の論戦』皇道会本部、1941年4月5日

『新生日本と民主主義(憲法改正論)』二葉書店、1945年11月20日 [『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

『何故戦争を起したか何故負けたか』二葉書店、1945年12月25日

『現行憲法と改正憲法』東洋経済新報社、1946年9月1日

『国会の盲点』東洋経済新報社、1953年3月20日

『日本民権発達史』[全4巻]日本民主協会、1958年7月7日、10月5日、1959年1月31日、6月20日 [第1巻は、『日本民権発達史』(政教社、1916年11月23日)の再刊、第2巻以後はその続篇]

『日本の政治はどこへ行く』日本民主協会、1960年6月30日

『民主主義と議会の運営』[木下広居との共著]日本民主協会、1960年10月25日 [『民主主義と国会と国民のありかた』(日本民主協会、1961年9月15日)と改題して再版]

\*『政界三大悪退治』日本民主協会、1961年

『八十路の憶出』植原悦二郎回顧録刊行委員会編、1963年12月2日

『植原悦二郎集』<日本憲法史叢書9>高坂邦彦・長尾龍一編、信山社出版、2005年4月10日

## 2. 共著

[「会員討議」の中] [1912年10月20日社会政策学会第6回大会第2日生計費問題討議於東京専修学校] 『生計費問題』 <社会政策学会編『社会政策学会論叢』第6冊> 同文館、1913年8月4日 [復刻版: 『生計費問題』 <社会政策学会史料集成6> (御茶の水書房、1977年)]

社会政策の実現策 [1914年11月8日社会政策学会第8回大会第2日の講演於東京帝国大学法科第32番教室] 『小農保護問題』 <社会政策学会編『社会政策学会論叢』第8冊> 同文館、1915年7月12日 [復刻版: 『小農保護問題』 <『社会政策学会史料集成』8> (御茶の水書房、1977年)、 『小農保護問題』 <近藤康男編『明治大正農政経済名著集』13> (農山漁村文化協会、1977年)]

石井菊次郎米国に使う『阿修羅帖』第3巻、伊東忠太・杉村広太郎著、国粹出版社、1921年2月15日

婦人参政問題『新婦人問題』 <婦人問題講演集6> 石川六郎編、民友社、1921年8月1日 [『婦人問題講演集』第6巻 (日本図書センター、2003年) 収録]

人種問題を背景としたる日支米の關係『新国是の提唱』 国策研究会編、希望閣、1924年7月18日

ハウ・ツウ・ラーン・イングリッシュ『英語研究苦心談 十六大家講演集』 第一外国語学校編、文化生活研究会、1925年1月15日

通信篇『新日本史』第1巻、三宅雄二郎監修、万朝報社、1926年11月18日

関税会議『政治講座』 立憲政友会編、日本政治学会、1926年12月9日

政党政治の原則『政治講座 続編』 立憲政友会編、立憲政友会本部、1928年2月3日

雄弁と其価値『巨人新人普選代議士名演説集』 <『雄弁』19-5 付録> 大久保周八編、大日本雄弁会講談社、1928年5月1日 [青年雄弁会編『現代名士大講演集大演説集』 (春江堂、1928年)、青年雄弁会編『現代名士獅子吼大演説集』 (春江堂、1929年) 収録]

序『米国西北部日本移民史』 竹内幸次郎著、大北日報社、1929年7月1日

第五十六議會を顧みて『政友會の主義政策』 石田善佐編、井田書店、1929年11月5日

婦選の哲理『昭和名演説集』 <『雄弁』21-1 別冊付録> 大日本雄弁会講談社、1930年1月1日

許すべからざる暴論 [「枢密院存廢論」] 『現下の諸問題は是非対抗熱弁集』 <『雄弁』第22-1 付録> 大日本雄弁会講談社、1931年1月1日

米国生れの青年見学団を迎へて『新時代五分間演説集』 <『雄弁』23-1 第1付録> 大日本雄弁会講談社、1932年1月1日

序『日本農具要覧』 新農業新聞社出版所編・刊、1933年1月10日

青年に対する希望『政治家の觀たる現代政治と其動向』 高橋清治郎編、物を聞く会、1933年3月25日

國際連盟脱退後の日本『時局特別叢書 第一』 日本放送出版協会、1933年5月15日

議會政治の特異性『是非対抗 現代名士大討論集』 <『雄弁』25-1 第1付録> 大日本雄弁会講談社、1934年1月1日

大陸政策遂行に際し先づ世界の蒙を開け (五月九日予算委員会速記全文) 『外交・財政・国防問題特別議會一騎討 特別議會舌戦録』 城西出版社編・刊、1936年6月1日

『電力国営案を繞りて 時局座談会』 電気日報社、1936年9月 [座談会: 矢野恒太、渡邊鍊藏、龜井貫一郎、猪股淇清、石山賢吉、益田元亮、近藤賢二、三浦覚玄]

序 [共同執筆] 『犬養木堂伝 上巻』 東洋経済新報社、1938年12月28日 [『木堂雜誌』16-2、1939年2月

20日に転載]

序『北門開拓とアメリカ文化 ケブロンとクラークの功績』山本紘照著、文化書院、1946年11月3日

「再生の日本」発刊の辞『再生の日本』講和問題研究会、1951年10月20日

山室軍平氏を偲びて『山室軍平選集 別巻 追想集』「山室軍平選集」刊行会、1954年5月25日

序『観光瀬戸内海』山田震一編、山田毅一君遺稿発刊有志会、1955年4月1日

川崎克君を偲ぶ『川崎克伝』江戸川乱歩編、川崎克伝刊行会、1956年2月3日

[1958年2月5日参考人としての発言(於首相官邸)]『憲法調査会第九回総会議事録』1958年2月5日[「憲法調査会議事録抜粋」と題して『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

名川侃市君を偲ぶ『名川侃一を語る』名川恵造[非売品]、1959年9月20日

序『米国に於ける非行少年の研究』杉町八重充著、明治大学出版部、1961年5月26日

『植原悦二郎と日本国憲法 そのリベラリストとしての実像』植原悦二郎十三回忌念記念出版刊行会、1974年12月2日

### 3. 評論等(新聞・雑誌掲載)<751 篇>

#### 1911(明治 44)年

〔社会政策学会記事〕中の 6 月 29 日社会政策学会例会における談話「英国に於ける社会政策労働問題」要旨『国家学』25-8、8 月 1 日

清国新憲法『東洋時論』2-12、12 月 4 日

#### 1912(明治 45・大正元)年

根本的行政整理『東洋時論』3-2、2 月 1 日

君主制立憲政体と共和政体『東洋時論』3-3、3 月 1 日

憲法上の謬想 上杉、美濃部、市村博士の論争批評『東洋時論』3-8、8 月 1 日〔『植原悦二郎集』収録〕

明治の国民と大正の国民『東洋時論』3-9、9 月 1 日

#### 1913(大正 2)年

英王の神聖不可侵『国家及国家学』1-2、3 月 1 日〔『日本民権発達史』(政教社、1916 年 11 月 23 日)付録、『植原悦二郎と日本国憲法』収録〕

英国二大政党の主義『国家及国家学』1-3、4 月 1 日

憲法上の迷信『青年日本』1-3、4 月 1 日

憲法の解釈法『国家及国家学』1-4、5 月 1 日

政党内閣論『青年日本』1-4、5 月 1 日

排日問題の研究『国家及国家学』1-5、6 月 1 日

枢密院改造論『青年日本』1-5、6 月 1 日

排日の不条理『国家及国家学』1-6、7 月 1 日

米国憲法と排日問題『青年日本』1-6、7 月 1 日

日米問題『日米[The Japanese American News]』7 月 22~24 日

国家と其意義『国家及国家学』1-7、8 月 1 日

領土拡張歟民族発展歟『青年日本』1-8、9 月 1 日

家族制度存続問題『国家及国家学』1-8、9 月 1 日

支那政体論『国家及国家学』1-9、9 月 15 日

英国の内閣と我国の内閣『国家及国家学』1-10、10 月 1 日

桂公と伊藤公『国家及国家学』1-11、11 月 1 日

政治上に於ける英国青年と日本青年『青年日本』1-10、11 月 1 日

〔「印象に残れる諸作」〕『青年日本』1-10、11 月 1 日

普通選挙論 理論及び実際問題『第三帝国』2、11月10日  
英国代議士と選挙区民との関係『国家及国家学』1-12、12月1日  
政変より得たる二感想『青年日本』1-11、12月1日

## 1914(大正3)年

憲政上より見たる増師問題『国家及国家学』2-1、1月1日  
アリストートルの革命論『国家及国家学』2-2、2月1日  
憲法と政治の実情『青年日本』2-2、2月1日  
京大教授の進退問題『青年日本』2-2、2月1日  
立憲国大臣の責任『第三帝国』6、2月10日  
立憲政体と地方自治制度『国家及国家学』2-3、3月1日  
政治道徳『国家及国家学』2-4、4月1日  
議会に於ける弁論『第三帝国』8、4月1日  
内閣の建造者与其破壊者『国家及国家学』2-5、5月1日  
憲政史上より見たる近時の政変『新公論』29-5、5月1日  
科学思想の影響[「外来思想と国民生活」]『青年日本』2-5、5月1日  
政治学者より見たる我が小中学校の教育『内外教育評論』8-5、5月1日  
法理上より観たる第二臨時議會『国家及国家学』2-6、6月1日  
徹底せるポリチシアン[「犬養氏近状論」]『太陽』20-7、6月1日  
元老存在の理由[「元老會議論」]『太陽』20-8、6月15日  
司法権の独立『国家及国家学』2-7、7月1日  
防務會議論『第三帝国』14、7月1日  
加州問題と我外交『国家及国家学』2-8、8月1日  
労働者の対抗運動『財政經濟時報』1-7、8月1日  
美濃部博士の『臨時議會と憲法』を駁す『青年』2-8、8月1日  
特殊会社と政黨員[「論説」]『大正之日本』2-8、8月1日  
欧州大陸禍乱の結果『国家及国家学』2-9、9月1日  
欧州大乱後の列強『第三帝国』19、9月16日  
膠州湾に対する我国の態度『国家及国家学』2-10、10月1日  
日本憲政史『大正之日本』2-10~12、3-2、3、5~8、10、4-3、4、10月1日、11月1日、12月1日、**1915年**  
2月1日、3月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月1日、10月1日、**1916年**3月1日、4月1  
日  
我憲政發達の九大障害『第三帝国』20、10月5日[今井清一編『大正デモクラシー 草の根と天皇制のは

さま』(社会評論社、1990年)、今井清一編『大正思想集 I』〈近代日本思想大系 33〉(筑摩書房、1978年)、『植原悦二郎集』収録]

婦人の新運動『国家及国家学』2-11、11月1日[『家族の伝統と変化』〈家族研究論文資料集成 明治大正昭和前期篇 第14巻〉(クレス出版、2001年)収録]

逆行せる立憲政治(文官任用令改正論)『青年』2-11、11月1日

機械と道徳『日本経済新誌』16-4、11月15日

交戦国に対する米国の態度『国家及国家学』2-12、12月1日

我立憲政体の改造『青年』2-12、12月1日

英国婦人と日本婦人[講演大要]『廓清』4-11、12月15日

### 1915(大正 4)年

独逸の軍閥と我国の軍閥『国家及国家学』3-1、1月1日

選挙法の改正問題『青年』3-1、1月1日

政界の積弊[「我政界の此の陋習を打破せよ!」]『大正之日本』3-1、1月1日、

政変の内面解剖『第三帝国』30、1月25日

議会解散の理由『国家及国家学』3-2、2月1日

大隈伯の為に惜む『青年』3-2、2月1日

現今の女子教育『内外教育評論』9-2、2月1日

大博と日米問題『新世界』2月21日

憲政と選挙『国家及国家学』3-3、3月1日

英国の政党及選挙事情[「英国の選挙状態」]『大正之日本』3-3、3月1日、

布哇在留の本邦人『国家及国家学』3-4、4月1日

米国に於ける欧州の戦乱『国家及国家学』3-5、5月1日

米国の進歩『国家及国家学』3-6、6月1日

日米問題『日米[The Japanese American News]』6月6、13、20、27日、7月4、11、25日

児童の権利『国家及国家学』3-7、7月1日

我政事家と欧米の政治家『国家及国家学』3-8、8月1日

伊国開戦の理由『国家及国家学』3-9、9月1日

本邦人と米人『国家及国家学』3-10、10月1日

疑問の露国『国家及国家学』3-11、11月1日

米国に於ける時局論『国家及国家学』3-12、12月1日

## 1916(大正 5)年

我領事館制と海外発展『国家及国家学』4-1、1月1日

二重国籍問題[談]『東京朝日新聞』1月12日

[「植原悦二郎氏より(芝)」]『新理想主義』60、1月25日

商工業主義と民族発展論『金星』4-2、2月1日

差別刑論『国家及国家学』4-2、2月1日

憲法政治と普通選挙『新理想主義』61、2月5日

吉野博士の憲法論を評す『国家及国家学』4-3、3月1日[太田雅夫編『資料大正デモクラシー論争史 上巻』(新泉社、1971年)、『植原悦二郎と日本国憲法』、『植原悦二郎集』収録]

比律濱と米国と日本『新小説』21-3、3月1日

社会制度と吾等の生活『中外日報』3月7、8日

\*余が在米日本人観『新日米評論』3、3月

憲政上の迷信『洪水以後』9、4月1日

上杉博士の憲法論を評す『国家及国家学』4-4、4月1日[太田雅夫編『資料大正デモクラシー論争史 上巻』(新泉社、1971年)、『植原悦二郎と日本国憲法』、『植原悦二郎集』収録]

吉野氏の憲法論と民本主義『日本及日本人』680、5月1日[太田雅夫編『資料大正デモクラシー論争史 上巻』(新泉社、1971年)、『植原悦二郎と日本国憲法』、『植原悦二郎集』収録]

所謂日米問題(第四回講演会席上)『日本移民協会報告』9、5月15日

米国より帰て一講演一『国家及国家学』4-6、6月1日

戦時の米国と戦後『太陽』22-8、6月15日

戦乱後の欧州問題『国家及国家学』4-7、7月1日

白館は何人を迎ふる乎『新小説』21-7、7月1日

政党三首領の会見『青年』4-7、7月1日

徹底せる民本政治 自分の生活と国家及び社会『第三帝国』70、7月1日

選挙法改正問題『日本及日本人』685、8月1日

立憲国に於ける行政・司法、立法三権の関係『国家及国家学』4-9、9月1日

戦後の英帝国[「英国研究」]『青年』4-9、9月1日

英米警察の側面観察[文責在記者]『日本警察新聞』379、380、9月11、21日

欧州戦後の列国 競争と太平洋の将来『第三帝国』75、9月15日

国民性論一日本民族と英国民族一[「日本国民性の比較研究」]『日本評論』18、10月1日

主権論、統治権、君主、人民の根本的解釈『第三帝国』76、10月15日

憲法上より見たる今回の政変『国家及国家学』4-11、11月1日[「寺内内閣成立の理由」と改題・補筆して、『日本民権発達史』(政教社、1916年11月23日)付録収録、同書から『植原悦二郎と日本国憲法』収録]



「寺内内閣を如何に観るか」『日本評論』19、11月1日  
人を見て法を説け[談「雄弁回顧録」]『雄弁』7-11、11月1日  
ウヰルソンの当選と日米関係『日本経済新誌』20-6、12月15日

## 1917(大正6)年

日本今後の殖民政策と人種問題『新小説』22-1、1月1日  
大英帝国の革命期『日本及日本人』696、1月1日  
大正の国是『日本経済新誌』20-7、1月1日  
各国の内政問題『大阪毎日新聞』1月4、5日  
立憲政治と超然内閣『経済時論』1-2、2月1日  
国家の起源『国家及国家学』5-2~4、2月1日、3月1日、4月1日  
現今に於ける我国の政党『青年』5-2、2月1日  
皇室の尊厳神聖と立憲政治『第三帝国』81、2月1日  
大権と責任内閣 超然内閣、官僚内閣は却つて累を及ぼす『第三帝国』82、3月1日  
「首相と内相の訓示に対する批評」『日本評論』23、3月1日  
立憲政治と超然内閣[談]『電業世界』91、3月15日  
主義政見の同ぜる人[「如何なる候補者を選挙すべき乎」]『新日本』7-4、4月1日  
戦後に於ける日本の植民改革『日本経済新誌』21-1、2、4月1、15日  
英国婦人の政治運動『青年』5-5、5月1日  
弁論と英国の政治家『雄弁』8-6、5月1日  
憲政実現の根本義『第三帝国』84、5月10日  
政友会総裁原敬に与ふる書『新小説』22-7、6月1日  
予の政治意見を述ぶ[「初めて議政壇上に立つに当つて予の政治意見を述ぶ」]『中央公論』32-6、6月1日  
日本帝国の将来を考慮して一天祐に救はるゝ祖国の幸運無限なりやー『新世界』6月12日  
臨時外交調査会に対する観測『日本及日本人』707、6月15日  
臨時外交調査会と国民党の態度[「外交調査会八面観」]『新公論』32-8、7月1日[『犬養毅とロイド・ジョージ』収録]  
臨時外交調査会と我憲政『新小説』22-8、7月1日[『犬養毅とロイド・ジョージ』収録]  
単純なる内閣の諮問機関か[「臨時外交調査会に対する批評」]『青年』5-7、7月1日  
\*我政界廓清の根本問題『青年雄弁』2-7、7月1日  
生活難の日本へ帰るより比較的生活愉快の米國に留まれ『新世界』7月5日  
議員生活の感想『青年』5-8、8月1日  
寒心すべき議会の現状[「初めて議会に列して」]『太陽』23-9、8月1日

議会に於る感想[「月曜論壇」]『国民新聞』8月10日  
議院制度上の二欠陥『日本及日本人』711、8月15日  
民本主義と婦人解放論『新日本』7-9、9月1日  
世界大戦第四年の初頭に立ちて[「提唱」]『日本評論』2-9、9月1日  
選挙法改正問題横議『青年』5-10~12、10月1日、11月1日、12月1日  
自衛的戦争と侵略的戦争『中外』1-1、10月1日  
石鼓生の批評に感謝す『日本及日本人』715、10月1日  
使命は米国々状の観察にあり[「国民を代表し渡米するに際して」]『大学評論』1-10、11月1日  
民本主義と婦人解放論[文責記者]『廓清』7-12、12月1日  
米国民の意嚮 議員視察団に加はりて『大阪毎日新聞』12月24~28日

### 1918(大正 7)年

予算案に対する私言『経済時論』3-2、2月1日  
米国視察談一講演一『国家及国家学』6-2~4、2月1日、3月1日、4月1日  
渡米視察団北米大陸遍歴日抄『新小説』23-2、3、2月1日、3月1日  
モンロー主義を拡充せる米国の参戦『中外』2-2、2月1日  
日本人の愛国心と米国人の愛国心『日本評論』81、2月1日  
第四十議会の所感『黒潮』3-3、3月1日  
政局大観『新時代』2-3、3月1日  
講和及戦後に対するウキルソン大統領の態度『青年』6-3、3月1日  
\*普通選挙論『青年雄弁』3-3、3月1日  
お殿様式の大臣と野武士式の議員[「現内閣十大臣の平面的立体的月旦」]『中外』2-3、3月1日  
警察権の行使は人民の保護[文責在記者]『日本警察新聞』432、3月1日  
米国の戦時社会状態[「問題と観測」]『東洋経済新報』807~810、3月5、15、25日、4月5日  
所謂西伯利亚出兵問題に関する私見『青年』6-4、4月1日  
[「東京市長問題解案」]『青年』6-4、4月1日  
資本家本位の社会政策一鈴木梅四郎君の社会政策論一『大学評論』2-5、5月1日  
予が米国軍備観『東方時論』3-5、5月1日  
現代政治並に立憲政治の純理両方面より観たる帝国議会『朝鮮公論』6-5、5月1日  
世界の進運と選挙権拡張『日本及日本人』732、6月1日  
日独同盟論と危険思想『朝鮮公論』6-7、7月1日  
大正の青年に与ふる書『雄弁』9-8、7月1日

西比利亜出兵問題『新公論』33-8、8月1日  
講和談判と我国の方針『日本及日本人』736、8月1日  
米国の浦港出兵要旨と日本 堂々たる民主的運動の光芒[「西伯利出兵に対する政治的並に経済的批判」]『朝鮮公論』6-9、9月1日  
国民生活難の根本的解決策『経済時論』6-9、10月1日  
政権授受の真相と閥族の凋落『中外』2-11、10月1日  
原内閣と其閣員[「原内閣論」]『青年』6-9、10月12日  
講和来は内乱勃発の時『自由評論』6-12、11月1日  
我政界現状の解剖『中外新論』2-11、11月1日  
選挙権拡張問題一大なる距離は要求と実現との間に横はる『東方時論』3-12、12月1日  
戦時の日本『雄弁』9-13、12月1日  
米国戦勝の理由[「世界大戦に於ける各国の統一状態」]『亜細亜時論』2-12、12月11日

## 1919(大正8)年

美人は英雄を好む[「英雄と美人」]『日本及日本人』747、1月1日  
日米問題の将来『山陽新報』1月4日  
普通選挙まで[談「壇上の苦心」]『読売新聞』1月29日  
欧州戦乱と米国政界の将来『大観』2-2、2月1日  
正義人道を尚ぶ人ーローズヴェルト氏の死を悼む[談]『朝鮮公論』7-2、2月1日  
[「代議士の婦人観」]『読売新聞』2月7日  
緊急決定を要する重要政策[「現代日本を生命つけるは如何なる政治乎」]『新時代』3-3、3月1日  
人種的差別撤廃論『信州』1-2、3月1日  
若き者の権利を主張せよ[「青年国民に選挙権を与へよ」]『寸鉄』1-3、3月1日  
英国のデモクラシー『大観』2-3、3月1日  
講和に対する我国の態度[「講和問題と国論」]『日本及日本人』752、3月15日  
普通選挙運動所感『太陽』25-4、4月1日  
英国の自由主義と民主政治『日本及日本人』754、4月5日  
長所此の如く多し[「米人の社会生活につき何を学ぶべきか」]『実業之日本』22-8、4月10日  
新選挙法の解剖『雄弁』10-6、5月1日  
政治と生活『有効乃活動』5-5、5月15日  
講和問題私見『自由評論』7-6、6月1日  
正義の仮面の下に行はれんとする米国の野心『新公論』34-6、6月1日  
朝鮮統治策『日本及日本人』760、7月1日

愛する人と結婚する[「私が女なら」]『国民新聞』7月27日  
労働問題の根本的解決策『労働世界』4-8、8月1日  
資本と労働『法律新聞』1579、8月8日  
デモクラシーの意義『法律新聞』1580、1581、8月10、13日  
朝鮮統治と新任総督及び政務総監『法律新聞』1583、8月18日  
思想取締問題『法律新聞』1584、8月20日  
税制の根本改革『法律新聞』1586、8月23日  
社会政策としての住宅問題『法律新聞』1587、8月28日  
西侯の帰朝と外交問題『法律新聞』1588、8月30日  
我国労働問題の帰趣『信州』1-8、9月1日  
米国近時の対日態度『太陽』25-11、9月1日  
税務官吏の収賄問題『法律新聞』1589、9月3日  
山東問題に関する米国諸新聞の論評『法律新聞』1590、9月5日  
二科会に於けるO氏の肖像問題『法律新聞』1592、9月10日  
国際労働大会と我国の代表者『法律新聞』1595、9月18日  
労働大会派遣代表者選挙会の経過『法律新聞』1598、9月25日  
選挙干渉と選挙の腐敗『法律新聞』1599、9月28日  
陪審制度に対する司法官の態度『法律新聞』1601、10月3日  
物価調節問題『法律新聞』1602、10月5日  
大蔵省官吏の増俸運動『法律新聞』1604、10月10日  
普通選挙と地方自治『法律新聞』1605、10月13日  
市政の根本改造『法律新聞』1608、10月20日  
司法権の解釈『法律新聞』1609、10月23日  
憲政発展の一大障礙『法律新聞』1611、10月28日  
普通選挙実施の必要『中外新論』3-11、11月1日  
警視総監と内閣『法律新聞』1613、11月3日  
現内閣と政友会『法律新聞』1614、11月5日  
枢密院官制の改正『法律新聞』1615、11月8日  
独占事業に於ける資本家の横暴『法律新聞』1616、11月10日  
文官任用令の改正『法律新聞』1617、11月13日  
再び現内閣の立憲的地位を論ず『法律新聞』1620、11月20日  
陪審制度と憲法問題『法律新聞』1621、11月23日

加藤総裁の立憲政治『法律新聞』1622、11月25日  
侠客団の墮落『法律新聞』1624、11月30日  
総ての中心たらんとする労働問題[「我国の政治及外交上より見たる労働問題」]『新時代』3-12、12月1日  
労働組合公認の急務[「論説」]『新組織』1-3、12月1日  
既成政党の革命[「普通選挙の実施と既成政党の省長」]『太陽』25-14、12月1日  
米国に於ける講和条約の運命『法律新聞』1626、12月5日  
労働会議と我国の国際的地位『法律新聞』1627、12月8日  
院外の奮起を望む[「普通選挙促進」談]『大阪朝日新聞』12月8日  
文官任用令の改正と立憲政治『法律新聞』1628、12月10日  
日本の巡査と欧米の巡査『法律新聞』1630、12月15日  
第四十二帝国議会の逆賭『法律新聞』1633、12月23日  
世界に於ける労働問題の趨勢『法律新聞』1634、12月25日  
大正八年の回顧『法律新聞』1636、12月30日

## 1920(大正9)年

労働者心理の相違『新組織』2-1、1月1日  
悪税改廢の急務『寸鉄』2-1、1月1日  
普選終不絶油虫 労党畢竟術奈術[「当面の政局観」]『中外新論』4-1、1月1日  
欧州各国の改造問題『日本及日本人』773、1月1日  
日本巡査と欧米巡査『日本警察新聞』495、1月1日  
新年の辞『法律新聞』1637、1月1日  
議会は無事に内閣は官僚へ[「政界観測」]『国民新聞』1月7日  
今期議会の普通選挙問題『日本及日本人』774、1月15日  
労働問題『台湾警察協会雑誌』32、1月25日  
[「両院改造・労働首領問題」]『改造』2-2、2月1日  
民本主義の徹底[「現代政治の根本的改造策」]『青年改造』1-2、2月1日  
今議会に於ける重要問題に就て『中外新論』4-2、2月1日  
普選は改造の安全弁[「普選問題」]『実業之世界』17-3、3月1日  
デモクラシーと労働運動の目的『新組織』2-3、3月1日  
解散は立憲的乎『日本及日本人』778、3月15日  
議会解散の真相[「議会解散を中心とせる日本政局の徹底的批判」]『新時代』4-4、4月1日  
第四十二議会と立憲政治の前途『太陽』26-4、4月1日

気品の高い英国美人『婦人世界』15-4、4月1日  
英国腐敗選挙の矯正策[「論説」]『新組織』2-5、5月1日  
総選挙の結果と我が政界の危機[「当面の政治 総選挙の結果と政局の前途」]『新時代』4-6、6月1日  
改造が焦眉の急[「特別議会に際して」談]『大阪朝日新聞』6月23日  
現行同盟継続の無意味[談「日英同盟改廢問題」]『太陽』26-8、7月1日  
臨時議会与政界の風雲『日本及日本人』786、7月1日  
経済産業組織の改造『実業公論』6-8、8月1日  
新青年諸君に檄す『新青年』1-8、8月1日  
[「官吏夏休廢止の功過批判」]『中央公論』37-9、8月1日  
サガレン州占領と米国の抗議的質問に就て『実業之世界』17-9、9月1日  
米国近事の排日問題『太陽』26-10、9月1日  
女子参政権の要求[「婦人参政権の叫び」]『女性日本人』1-1、9月1日  
誰も彼も避暑に行く英国婦人—天国のやうな賑はい—『婦人世界』15-9、9月1日  
加州排日問題 屈辱外交の非 根本的解決法『東京朝日新聞』9月20、21日[(上)を『新聞集成大正編年史 大正九年度版 下』(明治大正昭和新聞研究会、1983年)収録]  
アングロサクソンの精神[「我印象を通しての国粹といふこと」]『国粹』1-1、10月1日  
我国に於ける農業政策の改革に就て[「論説」]『新組織』2-10、10月1日  
議会及政党改造論『雄弁』11-10、10月1日  
排日の真相と其の解決策『太陽』26-13、11月1日  
日米間の諸問題『中外新論』4-11、11月1日  
四面楚歌の日本『中学世界』23-14、11月1日  
加州人の觀たる日本人『東方時論』5-11<日米問題号>、11月1日  
米国新大統領と対日政策『実業之世界』17-12、12月1日  
ハーデングと其施政『新小説』25-12、12月1日

## 1921(大正10)年

一般の自覚が肝要[「圧迫事件の批判」]『女性同盟』4、1月1日  
我現代社会組織の厳正批判『丁酉倫理会倫理講演集』221、1月10日  
政治上の見地から[「女教員と政治運動」]『女性日本人』2-2、2月1日  
雄弁を事実に触れせしめよ[「立教大学弁論部長として」]『雄弁』12-2、2月1日  
時代に適応せよ[「離婚自由の問題」]『東京日日新聞』2月17日  
文化生活の意義[「論説」]『新組織』3-3、3月1日  
専制に均しき立憲政治[「第四十四議會を通じて觀たる政局現状批判」]『太陽』27-5、5月1日

〔「半どん廃止の可否」〕『日本一』7-5、5月1日

\*文化生活『信州』3-6、6月1日<県立長野図書館所蔵>

国際連盟の価値『国際連盟』1-4、7月1日

普通選挙の実施〔「如何にして青年の政治的常識を養成すべきか」〕『雄弁』12-7、7月1日

改むべき二つの傾向〔「学生演説会の緊急問題 弥次の是非」〕『雄弁』12-8、8月1日

神戸労働争議観『日本及日本人』815、8月15日

秘密政治を好む国民 過去を顧み現在を洞察して将来を〔「秘密政治と公開政治」〕『自由評論』9-9、9月1日

確乎たる対支政策 手腕家か骨董品か〔「軍備制限及太平洋会議所観」〕『信州』3-9、9月1日

太平洋会議と青年の力『寸鉄』3-9、9月1日

太平洋会議の側面観〔「太平洋会議と日本」〕『太陽』27-11、9月1日

予が渡米の目的『東京朝日新聞』10月6日

〔「死を如何に観ずるか」〕『野依雑誌』1-8、12月1日

## 1922(大正 11)年

華府会議開会前の感想〔書信〕『大観』5-1、1月1日

味噌を付けた日仏 加藤全権は十八世紀の政治家〔談〕『読売新聞』1月17日

華府会議の我外交 其拙劣は旧式外交制度の罪〔談〕『中外商業新報』1月19日

英支の大成功〔談〕『東京朝日新聞』1月19日

寸地の爲全土を失ふ 幣原全権に仮病呼ばり『新世界』2月11日

失敗か成功か華盛頓会議の側面観〔「華盛頓会議参列及び視察者の新帰朝報告」〕『実業之日本』25-4、2月15日

華府会議に特記すべき新聞記者の活動『新聞及新聞記者』3-2、2月25日

華府会議に於ける日本の成敗〔「華府会議の局内観、局外観」〕『太陽』28-3、3月1日

華府会議に於ける我全権の態度『雄弁』13-3、3月1日

時代錯誤と矛盾の生活『婦人公論』7-4、4月1日

新時代の鉄道政策『鉄道』190、4月15日

華府会議を顧みて『信州』4-5、5月1日

議会改造の根本義〔「議会改造の批判」〕『表現』2-5、5月1日

報道の的確外三点〔「来る可き日本新聞界に対する諸注文」〕『新聞及新聞記者』3-5、6月30日

〔「何人の内閣を歓迎すべき乎」〕『実業公論』8-7、7月1日

〔「政変批判と希望条件」〕『実業公論』8-7、7月1日

政党の改造と国民の要求〔「政界革新運動の前途」〕『寸鉄』4-8、7月1日

「貴下が実行され又実行せんとする銷夏法。夏季休養日を如何に活用すべき乎。夏期休暇廃止の可否に就いて」『実業公論』8-8、8月1日

加州排日土地法と米国憲法問題『太陽』28-10、8月1日

国民生活の標的に「春秋会に対する所感と希望」『新聞及新聞記者』3-6、8月15日

長春会議の側面観『中外商業新報』9月1、2、4日

私の育てられた環境[「男子専制」に就ての考察]『女性日本人』3-10、10月1日

「余が過去に於ける志望の推移と現在の職業並其の感想」『現代』3-11、11月1日

「当今の物価の中何を先づ引下ぐべき乎(一)。物価引下には如何なる方法を断行すべき乎(二)」『実業公論』8-11、11月1日

地方自治の現状 財政税制・行政機関二方面よりの考察『地方行政』30-11、11月1日

空中輸送の現化『鉄道』197、11月15日

## 1923(大正 12)年

枢密院の越権行為 重大なる越権行為『読売新聞』1月14日[『新聞集成大正編年史 大正十二年度版 上』(明治大正昭和新聞研究会、1984)収録]

日支郵便問題と枢府の行為『実業公論』9-2、2月1日

婦人の政治的人権の自覚[「議会政治と現代婦人」]『女性日本人』4-2、2月1日

日支外交と枢密院問題『太陽』29-2、2月1日

将来の交通機関—鉄道、自動車、航空機—『鉄道』200、2月15日

「日露通商の促進・尼港事件の賠償」『実業公論』9-3、3月1日

危機に傾せる我国の産業—産業革新の意義—『産業界』2-4、4月1日

携はる人物が問題[「新聞記者が社を背景として政治運動に携はるの可否」]『新聞及新聞記者』4-4、4月15日

「諸家の対支・満鮮観」『実業公論』9-5、5月1日

「当面の問題 日露の国交を何うする」『中外商業新報』5月1日

財源は充分[談、「地租委譲問題は是非」]『東京朝日新聞』6月12日

米国にも此煩悶あり『憲政公論』3-8、8月1日

補填財源に心配はない[「地租移譲と賛否論」]『農政研究』2-10、9月1日

政界革新には妙なり[「山本内閣と復興問題」]『実業公論』9-12、12月1日

## 1924(大正 13)年

普選の洗礼を受けて根本的に改造さるゝ社会相『神戸新聞』1月1日

選挙権の拡張と国民教育[「普選と学校の政治化 諸名家談」]『日本教育』3-1、1月1日

貴族院改革問題『木堂雑誌』1-1、1月1日



普選の効果[「普選が実施されたら」]『北国新聞』1月1日  
大正維新に徹せよ[「起て！満天下の青年諸子」]『雄弁』15-1、1月1日  
普通選挙の効果『京都日出新聞』1月1、2日  
真剣なる政治生活の建設『現代』5-2、2月1日  
聴衆の心を掴むのは最初の五分間 平易簡潔な用語を用ひて人生に即すること[インタビュー記事「雄弁自讃」]『サンデー毎日』3-11、3月9日  
排日立法と国民精神の帰趨『朝鮮及満洲』200、7月13日  
立憲政治の本義に悖る二院制度の運用を理解せよ[「貴族院改革問題」]『国論』10-8、8月1日  
護憲内閣の成立と特別議会『木堂雑誌』1-7、8月1日  
家庭の温みで[「歳ごろの娘を異性の誘惑から防ぐ方法如何」]『婦人公論』9-10、10月1日  
政党に利用されるな—失敗の原因は青年の無自覚から—『新使命』1-1、10月15日  
普選の実施と地方自治『地方行政』32-11、11月1日  
英国政変の意義『木堂雑誌』1-10、11月5日

## 1925(大正 14)年

[「我が家の三ヶ日」]『アサヒグラフ』4-1、1月1日  
第五十議会観『北国新聞』1月1日  
強敵なき歎[「新日本を孕む第五十議会に直面して」]『京都日日新聞』1月3日  
第五十帝国議会観『京都日出新聞』1月3日  
強敵なき歎[「第五十議会に臨みて何を求め何を為すべき乎」]『神戸新聞』1月3日  
十年の辛棒が要る 効果は直ちに挙げぬ[「稔りゆく普選の美果 其実施後の政治的変転」]『山陽新報』1月3日  
亜細亜民族の団結と日支提携『工場世界』6-1、1月5日  
憲政の革命的变化[「普選になったら」]『福岡日日新聞』1月6日  
地方自治と女子参政権『地方行政』33-2、2月1日  
道徳、政治、生活 完全なる政治制度と生活道徳[「議会生活者の道徳的批判」]『文化生活』3-2、2月1日  
[「女子高等教育と諸家の意見」]『婦女新聞』1287、2月8日  
我國民衆政治の将来『現代』6-3、3月1日  
[「及第か落第か 日露交渉の成績 諸名士の日露交渉成立批判」]『植民』4-3、3月1日  
[「あなたの夫人、令嬢、令妹などが職業を持つことをお望みになりましたら」]『婦人之友』19-3、3月1日  
[「普選実施後の政界分野観」]『憲政公論』5-4、4月1日  
\*無線電話の流行と現代女性の真理『ラヂオ』4月

一哲人の観たる我電気事業の将来[電気倶楽部講演要旨筆記]『電気之友』611、5月15日  
政界分野の大なる展開は第二回以後であらう[「普選実施に伴ふ政界将来の分野」]『日本教育』4-6、6月1日  
普選の実施と学生『[明治大学]駿台新報』88、6月13日  
英国留学時代[「諸名士が我が社の質問に答へられた『余が今日になるまでに最も苦心した一節』」]『実業之日本』28-13、7月1日  
[「無産階級政党の出現に就て」]『政治研究』3-6、7月1日  
[「日曜と家庭」]『婦人公論』10-7、7月1日  
『現代日本の政治過程』大山郁夫氏の新著を読む[「読書ページ 新著週評」]『東京朝日新聞』7月12日  
普選と青年有権者[「一人一話」]『東京』2-8、8月1日  
現代日本の新聞雑誌と政治『日本及日本人』83、10月5日  
支那関税会議の側面観『政友』297、298、12月1日、1926年1月1日

### 1926(大正15・昭和元年)

[「成功の第一要件」]『キング』2-1、1月1日  
支那は破滅乎復興乎『日本及日本人』93、3月1日  
露支の接近と新対支政策『外交時報』510、3月1日  
郡廃善後に定見なし『国論』12-4、4月1日  
[「是か非か台湾議會と朝野の輿論」]『植民』5-4、4月1日  
日露支三国の關係 共存共栄の方策を確立せよ『國際知識』6-3、5月1日  
公民権付与は廿歳が至当『自治公論』3-2、5月1日  
新聞雑誌も悪い[「此の醜悪劣等極る政治を革清するには」]『新使命』3-5、5月1日  
普選実施と無産政党[「無産政党の将来に就いて」]『日本教育』5-5、5月1日  
支那の政府と政治『支那』17-5、5月15日  
[「細君の俸給」問題是非]『婦人公論』11-6、6月1日  
到所有山は主觀的事実[「海外発展者諸子におくる言葉」]『植民』5-7、7月1日  
支那の政治家『支那』17-7、7月15日  
関税会議失敗の原因『国論』12-8、8月1日  
長野の騷擾事件と司法権の行使『法律春秋』1-2、10月1日  
簡易保険事業の成績『通信協会雑誌』218<簡易保険創始十周年記念>、10月10日  
高橋清吾氏著—『現代政治の科学的観測』[「読書ページ」]『東京朝日新聞』12月17日[『現代政治の科学的観測』に関する植原悦二郎氏対吉村正氏の論争について』(政治科学研究会、1927年)収録]  
吉村氏の駁論を駁す『東京朝日新聞』12月31日[『現代政治の科学的観測』に関する植原悦二郎氏対吉村正氏の論争について』(政治科学研究会、1927年)収録]

## 1927(昭和2)年

- 反響を気にするな[「現代新聞経営策批判」]『新聞及新聞記者』8-1、1月1日  
[「解散か否か」]『中外商業新報』1月1日  
北京の巻[「世界のモダンガール物語」]『婦人世界』22-1、1月1日  
迎年の経済界『文化生活』5-1、1月1日  
大正は過渡昭和は更始『日本及日本人』116、1月15日  
幣原外交の外交演説を評す 内容貧弱の御座なり式『国論』13-2、2月1日  
対支外交に就て外相に質す[1月25日衆議院速記録抄録]『政友』313、3月1日  
憂ふべき支那の現状と幣原外交『中央公論』24-3、3月1日  
[「若し私が文部大臣を選ぶとすれば？」]『文化生活』5-3、3月1日  
混沌たる日本の現状[「随筆」]『文芸春秋』5-3、3月1日  
第二次軍縮会議『国際知識』7-4、4月1日  
支那の現状『創造日本』1-1、4月1日  
問題は確固たる対支政策の樹立にある[「支那時局観」]『実業之世界』24-5、5月1日  
政友会が天下を取る夢[「余が最近見たる面白い夢」]『ワールド』4-5、5月1日  
英露国交断絶の極東に及ぼす影響『財界レビュー』5-6、6月15日  
英露断交の極東に及ぼす影響『国論』13-7、7月1日  
支那出兵と其の価値[「対支出兵批判」]『実業時代』4-7、7月1日  
東方会議の意義『国際知識』7-8、8月1日  
対支外交の将来[「傾向と批判」]『青年日本』3-8、8月1日  
支那に対する根本観念『外交時報』548、10月1日  
随感随想『ワールド』4-10、10月1日  
故国の近状に関し余の観察を其儘に在米同胞に語らんと欲す『新世界』10月3～5日  
満州排日問題の経過『創造日本』1-8、11月1日  
誤まれる見解[「普通選挙第一戦の総決算的八面評」]『中央公論』42-11、11月1日  
日支国民の心的結合『拓殖公論』19、12月1日

## 1928(昭和3)年

- 現政府の満蒙政策『東方公論』3-1、1月1日  
溢れる人口を何処へ捌くか 我国の根本的植民政策『北海タイムス』1月1日  
南洋への移民 我根本的植民政策『山陽新報』1月4日  
我国の根本的植民政策『河北新報』1月5日

支那南北兩派の観点[「対支問題」]『我観』52、2月1日  
我が普選実験の厳正批判『法曹公論』32-4、4月1日  
優生運動と避妊調節『優生運動』3-4、4月1日  
青年士気の脆弱[「学校と学生」]『万朝報』4月12日  
\*我普選実験の厳正批判『講演』37、4月20日  
我が対支政策の根本観念『外交時報』565、6月15日  
支那動乱と日本の将来『貿易』28-6、6月15日  
支那の現状（スポイルド、チャイルド）『経済生活』6-8、8月1日  
忙しい夏[「銷夏漫談」]『通信協会雑誌』240、8月10日  
興味ある米国の大統領選挙『政友』334、9月1日  
田中外交と幣原外交『東京朝日新聞』9月22～24、26、27日[『木堂雑誌』5-4、10月1日に転載。22日付を『新聞集成昭和編年史。昭和三年度版 3』（明治大正昭和新聞研究会、1989年）収録]  
日本と支那『国際知識』8-10、10月1日  
国際間の雰囲気『政友』335、10月1日  
[「床次第三党の将来」]『祖国』1-1、10月1日  
\*田中外交と幣原外交『木堂雑誌』5-4、10月1日  
演説成功の秘訣[「大雄弁家体験話」]『雄弁』19-10、10月1日  
故国の近状に関し余の観察を其の儘に在米同胞に語らん『新世界』10月3、5日  
幣原男と其対支外交[「幣原喜重郎・久原房之助」]『改造』10-11、11月1日  
政友会新総裁と支那関係『国論』15-11、11月1日  
田中内閣対支外交は是非か『祖国』1-2、11月1日  
政友会外交と民政党外交[「主潮」]『法律春秋』3-11、11月1日  
正々堂々たる米国の逐鹿戦『雄弁』19-11、11月1日  
選挙革正の急務『国論』15-12、12月1日  
積極的海外発展の企図[「明年度予算概要」]『政友』337、12月1日

## 1929(昭和4)年

進んで支那を導け『東方公論』4-1、1月1日  
日支関係の現状『日支』2-1、2、1月1日、2月1日  
我國民と対支外交[「國民政府の所謂滿蒙及滿鉄回収論」]『改造』11-2、2月1日  
政治家の資格問題と國民の政治的覚醒『経済生活』7-3、3月1日  
[「私は妻や嫁に斯うして貰ふのが一番嬉しい」]『婦人倶楽部』10-3、3月1日  
議會後の政局[「議會後の政界はどうなる」]『改造』11-4、4月1日

第五十六議會を顧みて『政友』341、4月1日  
[「議會後の政界予測」]『祖国』2-4、4月1日  
範を何れに求める[「最近の学生弁論会に就ての感想」]『雄弁』20-4、4月1日  
今期議會の感想[「今期議會観」]『宇宙』4-5、5月1日  
醜い出しやばり[「こんな婦人は御免です」]『婦人倶楽部』10-5、5月1日  
排日を慮りて[「邦人のアマゾン進出に就て」]『ブラジル』3-5、5月1日  
憲政の運用と枢密院『政治経済時論』4-6、6月1日  
大英国の政界とマクドナルド首相の人物『実業時代』6-7、7月1日  
政治と国民生活 国民の政治的覚醒と生活の向上『経済生活』7-8、8月1日  
[「一、公経済上 二、私経済上 三、個人生活上の無駄」]『祖国』2-8、8月1日  
幣原外交の対支政策『東方公論』4-8、8月1日  
憲政常道と浜口内閣[「随想と文化批判」]『法律春秋』4-8、8月1日  
現代世界巨人批判会『雄弁』20-8、8月1日[座談会：堀口九萬一、千葉龜雄、鶴見祐輔、鈴木文治、米田実]  
時の勢ひ[「現代世相展望」]『東京朝日新聞』8月22日  
縁談と婚礼の座談会『婦人倶楽部』10-10、10月1日[座談会：小西久遠、水野しげき、安部こま子、山脇房子、竹内茂代、三輪田元道]  
支那時局観『東方公論』4-11、11月1日  
一家を楽園たらしむる人[「新時代の奥様資格」]『婦人倶楽部』10-11、11月1日  
実行予算と憲法論[「随想と文化批判」]『法律春秋』4-11、11月1日  
政治家に年令無し『木堂雑誌』11月号[6-7]、11月1日  
政党と地方自治団体『斯民』24-12、12月1日  
民政党立憲的か政友会立憲的か『政治経済時論』4-12、12月1日  
減俸問題の政治的責任『祖国』2-12、12月1日  
誰にも話さなかつた話『文芸春秋』7-12、12月1日

## 1930(昭和5)年

[「総選挙を前にして大衆に訴ふ」]『改造』12-2、2月1日  
解散後の政党と其帰趨[「解散後の政党とその動向」]『経済往来』5-2、2月1日  
名利を需めざる巨人政治家『現代』11-2、2月1日  
浜口内閣と軍縮会議『政治経済時論』5-5、5月1日  
[「失業問題の根本的解決法」]『祖国』3-5、5月1日  
議會に現はれたるロンドン會議『国論』16-6、6月1日

現内閣の対支外交『政界往來』1-1、8月1日

〔産業合理化と失業問題は因果の関係ありや?〕『政治経済時論』5-8、8月1日

本誌主催学生大討論会 日米戦ふの日ありや否や『雄弁』21-8、8月1日〔討論会：五来素川、本城廣信、川崎三藏、河村博家、曾谷総一、松尾隆男、森茂、竹内重利〕

〔枢密院存在の是非〕『政治経済時論』5-10、10月1日

〔失業救済の具体策〕『政治経済時論』5-10、10月1日

不景気の実相と政治経済的教育—経済調査に就ての所感—『政友』361、10月1日

幣原外交の瞥見『外交時報』621、10月15日

疑問の支那『新亜細亜』1-1、11月1日

時事漫談『政界往來』1-4、11月1日

時局に就ての所感『東方公論』5-11、11月1日

枢密院存廢論『法律春秋』5-11、11月1日

我皇室と一視同仁〔御盛徳誌上謹話会〕『婦人画報』305、11月3日

## 1931(昭和6)年

政党内閣と政策『法律春秋』6-1、1月1日

第五十九議会の展望『木堂雑誌』8-1、1月1日

この花をして良果を結びしめよ!〔直ぐ応用出来る模範式辞挨拶卓上演説集〕『雄弁』22-1、1月1日

難しい支那の謎『政界往來』2-2、2月1日

満蒙と列強関係『政治経済時論』6-2、2月1日

〔一 既成政党を如何に浄化すべきか 二 既成政党へ期待すべきことありや 三 政民両党々勢今後の予想〕『祖国』4-3、3月1日『祖国』4-3、3月1日

異常なる議会〔議会制度批判〕『法律春秋』6-3、3月1日

臨時首相代理の失言と議会の紛擾『文芸春秋』9-4、4月1日

弄ばれた議会『政界往來』2-5、5月1日

日露関係と漁業問題『政治経済時論』6-6、6月1日

七転八起の覚悟と自覚〔政治家として若く生きる工夫〕『実業之世界』28-7、7月1日

民政党の幣原外交礼賛『政友』371、8月1日

法律万能と憲政の破壊〔随想・批判〕『法律春秋』6-8、8月1日

民政党の幣原外交礼賛『東方公論』6-9、9月1日

粘り強さ〔人の評判 吉沢謙吉〕『文芸春秋』9-12、12月1日

満州問題と国際連盟〔随想・批判〕『法律春秋』6-12、12月1日

## 1932(昭和 7)年

憲政のためのみの解散は不可である 今議会は無事と考へる[「第六十議会の展望」について]『山陽新報』1月1日

非[「挙国一致内閣是非」]『政界往來』3-1、1月1日

内閣を信頼せよ[「政界名士の政局観 犬養内閣の展望」]『大阪時事新報』1月6日

満蒙問題と列強『政治経済時論』7-2、2月1日

洋々たる光明を認む[「同士よ、全国民よ、国家の為に民政党を排撃せよ一政友会院外大会における来賓演説スケッチ」]『政友』377、2月1日

国難を打開し得るは我党あるのみ一開会の辞一『政友』378、3月1日

アメリカの真相を語る座談会『現代』13-5、5月1日[3月25日(於帝国ホテル)座談会：東善作、安達堅造、大山卯次郎、勝田貞次、久米正雄、関根郡平、奈良静馬、早川成治、古城胤秀、米田実]

対満国策の基調『東洋』35-5、5月1日

立憲政治の危機『木堂雑誌』9-5、5月1日

決心を貫いた青年[「名家諸説」]『現代』13-6、6月1日

故犬養総裁を偲ぶ『政友』381、6月1日

創造時代の満州国『創造』2-5、6月1日

新内閣随一の雄弁家[「新内閣の華！輝く雄弁人永井拓相論」]『雄弁』23-7、7月1日

支那の不安『実業之世界』29-8、8月1日

時事漫談『政界往來』3-9、9月1日

議會振肅『現代』13-10[第二特輯 時局解説辞典]、10月1日

リットン報告書を読み『政治経済時論』7-11、11月1日

非常時日本と女性の覚悟を促す座談会『婦女界』46-5、11月1日[座談会：木村桂、谷寿夫、水野広徳、福永恭助、菊池寛、鳩山薫子、山田わか、吉屋信子]

満州国承認と国際連盟[時事問題演説会於朝日講堂]『婦女新聞』1692、11月13日

米国大統領改選と極東政策『政友』388、12月1日

[「忘れ得ぬ母の一言」]『報知新聞』12月27日

\*日本を組上に載せて『近代』12月号

## 1933(昭和 8)年

結婚生活を幸福にする座談会『婦人倶楽部』14-1、1月1日[座談会：伊藤奎二、鳩山薫、岡本かの子、竹内茂代、丸木砂土、丸山茂子]

政界縦横談[「随想」]『政治経済時論』8-3、3月1日

円満玉の如し 玉置金八氏の家庭[「私の見た模範家庭」]『現代』14-4、4月1日

木堂先生の一周忌に際して『木堂雑誌』10-5、5月1日

ロンドン経済会議の雲行『政友』394、6月1日

\*連盟脱退後の日本『政界春秋』19-6、6月

行き詰れる教育を語る『帝国教育』633、9月1日[7月12日、帝国教育会主催第二回座談会(於教育会館)。

出席者：芦田均、小泉信三、田川大吉郎、小林順一郎、本間利雄、小山完吾、東郷実、武部欽一、鎌田栄吉]

[「一、私が二十才前後に抱いた希望・目的 二、自分の子供はこれらは何にしたいか】『実業之日本』36-19、10月1日

映画国策は国家施政の大綱[「時論・時評・時言】『国際映画新聞』112、10月20日

[「如何にして政党政治を護る?】『政界往来』4-11、11月1日

人心不安と憲政擁護『政治経済時論』8-11、11月1日

### 1934(昭和9)年

公民教育と議会政治の完成[「非常時教育方策に寄す 教育大会決議の検討】『帝国教育』640、1月1日

独裁政治と議会政治『木堂雑誌』11-2、2月1日

政党解消論と立憲政治[「政党解消はか非か】『雄弁』25-3、3月1日

政党解消論と立憲政治『木堂雑誌』11-4、4月1日

特別会計座談会『通信協会雑誌』308<通信事業特別会計実施記念>、4月10日[座談会：南弘、前田利定、安達謙藏、望月圭介、三土忠造、古島一雄、中野正剛、小池仁郎、内田信也、若宮貞夫、桑山鐵男、川崎克、東郷實、坂野鉄次郎、伊豆富人、宮澤裕、牧野良三、大橋八郎、立花種忠、上ノ畑悌二、平沢要、平井貞三、武田泰郎、久埜茂、山本直太郎、米沢與三七、富安健次、猪熊貞治、西邨知一]

米国訪問議員団の追憶『国際知識』14-5、5月1日

非常時妙薬[「随筆】『文芸春秋』12-5、5月1日

芝居見物『政界往来』5-7、7月1日

国家非常時と農村民『国論』1-6、8月11日

官僚内閣と国民の悲哀『青年日本』10-10、10月1日

日満関係の重大性『木堂雑誌』11-11、11月1日

### 1935(昭和10)年

非常時の内容と政党『政友』414、1月1日

木堂先生と東亜問題『木堂雑誌』12-1~6、1月1日、2月1日、3月1日、4月15日、5月15日、6月1日[1934年6月13日座談会(於交詢社)：副島義一、柏原文太郎、萱野長知、平山周、古島一雄]

議院法改正提案の理由[衆議院演説要旨]『政友』417、4月1日

木堂と立憲政治『経済往来』10-5、5月1日

言論の自由と議会政治の前途[「論説】『政治経済時論』10-7、7月1日

選挙粛正問題に就て『政友』420、7月1日



腑に落ちぬ事[「随筆」]『文芸春秋』13-7、7月1日  
日本人の付和雷同性『政界往来』6-9、9月1日  
責任内閣の実現に俟つ[「どうすれば選挙粛正が出来るか」]『雄弁』26-9、9月1日  
地方自治の危機[「選挙演説模範例」]『雄弁』26-10、10月1日  
[「地方選挙戦の感想」]『政界往来』6-11、11月1日  
政党政治確立の要『政友』424、11月1日

## 1936(昭和11)年

[「一 選挙粛正の効果如何 二 退職金積立金法案の是非」葉書回答]『政治経済時論』11-1、1月1日  
[「国防費激増と所謂粛正選挙と」]『木堂雑誌』13-1、1月1日  
[「これからは如何なる学校・学科を選ぶべきか」]『実業之日本』39-3、2月1日  
珍無類の法律『政界往来』7-2、2月1日  
実現が可能かどうか一出来得れば話術科として加へたい[「中等学校以上に雄弁科設置の可否」]『雄弁』27-2、  
2月1日  
今の日本[「私の見方」]『時事新報[夕刊]』4月9日  
貴族院改革問題『時事新報』4月9、11日  
華族制度[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』5月8日  
庶政一新論『政治経済時論』11-6、6月1日  
今期議会の世評[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』6月3日  
新聞の『三面記事』[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』6月25日  
今期議会の成果『文芸春秋』14-7、7月1日  
\*重臣の排除は国民の決意次第『事業之日本』15-7、7月  
庶政一新の帰趣[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』7月24日  
日本は何処へ行く[「支那に於る新情勢の展開と日本外交」]『経済情報』11-22、8月11日  
二千六百年の日本[「随筆・随評」]『国際知識』16-9、9月1日  
内閣の性質[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』9月2日  
[記事「海外放送を通じて”日本の姿”を語る」中の海外放送講演「日本の姿」要旨]『日布時事』9月2日  
西班牙の動乱[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』9月20日  
議会制度改革と常置委員設置問題『国政一新』12-10、10月1日  
国家の統制強化[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』10月24日  
公選を強調す[「地方局の東京都制両案に対する批判」]『都市問題』23-5、11月1日  
我民族の特異性を無視する勿れ『木堂雑誌』13-8、11月1日  
乃木・東郷両聖将[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』11月8日

空中の戦争『政界往来』7-12、12月1日

フェアプレー[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』12月6日

### 1937(昭和12)年

[「今年こそ是非やりたいと思ふこと」]『実業之日本』40-1、1月1日

[「最も感激深かつた正月」]『実業之日本』40-1、1月1日

[「日独防共協定に対する感想(葉書回答)」]『文芸春秋』15-1、1月1日

真の雄弁と言論の自由『雄弁』28-1、1月1日

[「時局に対する覚悟と対策を貴衆両院議員に訊く」葉書回答]『経済情報』12-4、2月1日

林首相兼外相に質す—衆議院における質問演説速記抄—『政友』438、3月1日

林首相に質す—第七十議会に於ける質問演説要旨—[議事速記録から]『木堂雑誌』14-3、3月1日

### 1938(昭和13)年

在官時代の思ひ出[「通信協会創立三十周年記念特輯——"先進に聴く"」]『通信協会雑誌』357、5月10日

宮本武蔵と大地『政界往来』9-6、6月1日

蘇満国境を視察して『神戸経済倶楽部講演』8、10月24日

### 1939(昭和14)年

[「新内閣に何を要望するか」]『政界往来』10-2、2月1日

政党は復活するか 国民生活を基調とした政党を[「日本の現状は一国一党を必要とするか」]『経済情報』14-7、3月1日

雄弁に関して[「創刊三十周年を祝して現代名士一人一話」]『雄弁』30-4、4月1日

軍事と外交[「銃眼」]『文芸春秋』17-12[時局増刊21 現地報告]、6月10日

最近の国際情勢[7月5日講演於京都経済倶楽部茶話会]『経済倶楽部講演』14-27、9月25日

ヴェクトリア女王幼時の教育『政界往来』10-10、10月1日

英米対策・独ソ対策をどうする『東洋経済新報』1898、11月25日[11月13日座談会(於東洋経済新報社楼上):中野正剛、水野伊太郎、蟬山政道、杉森孝次郎、鹿島守之助、茅原崙山、石橋湛山]

### 1940(昭和15)年

政党は復活するか座談会『話』8-2、2月1日[12月11日座談会(於芝紅葉館):清瀬一郎、亀井貫一郎、内ヶ崎作三郎、油谷義治、木村正義、丸山幹治、秋定鶴造]

不介入絶対支持[「欧州大戦をかく見る」]『経済マガジン』4-7、7月1日

## 1941(昭和 16)年

大政翼賛会補助金不承諾の趣旨弁明[1941年2月27日、第76回帝国議会衆議院議事速記録から転載]『祖国』13-4、4月1日

## 1942(昭和 17)年

〔「短言」〕『東亜国政』2-2、2月15日

南方文化工作の重点『日本読書新聞』195、4月13日

〔「総選挙雑感」〕『祖国』14-6、6月1日

## 1945(昭和 20)年

東京よりの報告[Joseph C. Grew, *Report from Tokyo: a message to the American people*, 1942 の訳]『時局情報』9-13、10-1、12月1日、1946年1月1日[『何故戦争を起したか何故負けたか』(二葉書店、1945年)付録に収録]

## 1946(昭和 21)年

中道政治の妙を〔「五大政党の政見を訊く」〕『東洋経済新報』2215、3月30日

政局はどうなる『読売報知』4月17～21日[座談会：羽仁説子、末弘巖太郎、山本実彦、水谷長三郎、成島勇、志賀義雄]

議員生活廿五年『政界ジープ』1-3、10月1日

〔「電化の国日本建設 先づ！今冬の渇水期をどうして乗り切るか 今後の電源開発はどうして行ふか 名士の声」〕『誰にもわかる電気知識』22-11、11月15日

## 1947(昭和 22)年

温故知新『新都市』1-3、3月1日

根本的頭の切り替えが必要—戦争・国防国家から平和・文化国家へ—〔「電力開発座談会その一」〕『誰にもわかる電気知識』23-3、3月15日[出席者：赤木正雄、内海清温、新藤武左エ門、長野長廣、三ツ井新次郎、牧野良三、新井章治、田中敏郎、吉村正太郎]

我党の態度変りなし[談]『読売新聞』5月6日

地方自治とスポイルシステム[談]『内務時報』9・10、5月10日

日本の行くべき途『再建』1-3、6月1日

## 1948(昭和 23)年

政権はタライ廻し 問題は与党内対立の露呈〔「政局の前途と打開策」〕『信濃毎日新聞』1月3日

救国政党に基盤を置く〔「政局收拾をどうする 各党代表者に聴く」〕『毎日新聞』2月10日

権力の濫用〔「暴力政治を想う」〕『信毎情報』1-3、3月10日

炭鉱国管を繞って『社会思潮』1-7、10月1日[8月5日対談(於衆議院):加藤勘十]

挙国内閣か単独内閣か『日本週報』65・66、11月30日[対談:西尾末広]

### 1949(昭和24)年

このたびの政変に対する私の態度、発表形態未詳、2月9日[プランゲ文庫AC-1013]

[「新しい選良」]『信濃路』4-28、2月15日

予算の実体と緊急動向『先見経済』84、6月21日

[「講和をどう思う 本社によせる各界の県会」]『読売新聞』11月22日

### 1950(昭和25)年

我利々々の群[「政局を語る」]『信濃毎日新聞』2月21日

[「編成案の賛否を輿論に訊く」]『新経済』10-3、2月25日

### 1951(昭和26)年

再武装をかく見る 各派代表座談会『読売新聞』1月12、13日[座談会:三木武夫、鈴木茂三郎、高瀬莊太郎]

講和後国民の意向で[「日本の再軍備は是非か 各界代表の意見をきく」]『伊勢新聞』1月24日

ダレス特使を迎えて『日本海新聞』1月28日(『伊勢新聞』1月29日)[座談会:矢部貞治、工藤昭四郎]

講和をこう考える『毎日新聞』2月4、5日[座談会:岡崎勝男、三木武夫、浅沼稻次郎]

座談会 ダレス構想と日本の立場『東洋経済新報』2460、2月17日[座談会:浅尾新甫、田村幸策、波多野鼎]

[「読書日より」]『日本読書新聞』583、3月7日

領土問題につき訴う[6月2日衆議院本会議に上程された決議案に対する趣旨弁明]『再建』5-6、7月1日

安全保障は日本の保障になるか『政界往来』17-2、11月1日[座談会:千葉三郎、曾祢益、大田三郎、鈴木安蔵、木捨幾三郎、木原通雄]

独立日本と天皇制『読売新聞』12月22~25日[座談会:矢部貞治、鈴木安蔵、横田喜三郎]

### 1952(昭和27)年

憲法をどうするか『読売新聞』4月2~6日[3月27日座談会:芦田均、浅沼稻次郎、武藤運十郎、鈴木安蔵]

アメリカの表情—訪米コボレばなし—『信濃往来』2-4、4月10日[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

改正に賛成[「憲法改正をどう思う」]『読売新聞』4月28日

[古島一雄哀悼談]『読売新聞[夕刊]』5月27日

川崎克君を憶う[1951年12月12日故川崎克三周年追悼会於上野精養軒]『時局』173、6月1日

とにかく働くこと 経済再建は青年の双肩に！『野田経済』3-6、6月1日

チャーチルの横顔[談]『時局』176、8月1日

世界は何処へ行くか『政界往来』18-9、9月1日

教育刷新が根本要件[「総選挙に臨む各党の主張」]『同盟時報』117、10月1日

### 1953(昭和28)年

政治の民主化『時局』181、1月1日

[「はがき回答 保守合同は是非か」]『政界往来』19-1、1月1日

難局に“強力内閣”を思う—政治感覚は鋭いが茶坊主共に惑わされる吉田—『信濃往来』3-1、1月10日  
[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

吉田内閣では景気はでない『産業と経済』6-3、2月1日[記者によるインタビュー]

国連と日本の存在[「国連議員連盟発足に当って」]『国連東京』14、3月15日

座談会 大物落選議員の政局観—議場の外から—『人物往来』2-7、7月1日[座談会：檜橋渡、周東英雄、唐島基智三]

大将、政局を談ず『信濃往来』3-8、8月10日[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

国士はいないか『時局』190、11月1日

断想『政界往来』19-11、11月1日

### 1954(昭和29)年

現行憲法と自衛軍『時局』192、1月1日

恵まれぬ農民『政界往来』20-1、1月1日

世相雑感[隨筆]『政界往来』20-5、5月1日

ラジオ[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』5月18日

我国民政治の進展と政治家の素質『政策』17、18、6月1日、7月1日

わが国選挙区制度の沿革—明治二十二年から大正十四年まで—『選挙』7-6、6月1日

軍閥政治の回顧—自由党創立の当初—『東京だより』60、7月1日[座談会：鳩山一郎、安藤正純、石坂豊一、大野伴睦、北吟吉、世耕弘一、林譲治、星島二郎、森幸太郎、芦田均]

尾崎翁を偲ぶ『時局』200、11月1日

スミス都へ行く『政界往来』20-11、11月10日

### 1955(昭和30)年

日本の将来『弁論』79、2月1日

バンドン会議に出席して アジア・アフリカの表情と平和宣言『実業之世界』52-6、5月15日

【アンケート 民・自両党代議士にきく 政局安定の構想は？】『新政経』67、6月1日

世界歴史の新機軸！ーバンドン会議より帰ってー『信濃往来』5-6、6月10日【『植原悦二郎と日本国憲法』収録】

選挙管理人【政界千夜一夜】『政界往来』21-6、6月10日

星亨の内閣破壊運動と尾崎の共和演説事件【『日本民権発達史』から抄載】『時局』208、10月1日

一大国民運動の展開【普選実施を回顧して】『公明選挙時報』70、11月5日

大選挙区に挑む白面の貧書生 木堂翁の徳憑で教壇から政界入りー【政界四十年の憶出(一)】『信濃往来』5-12、12月10日

## 1956(昭和31)年

華府会議、加藤全権の苦衷ー一人一区・強敵内山をうつちやるー【政界四十年の憶出(二)】『信濃往来』6-1、1月10日

大糸線敷設と高瀬川堤防工事始めー民主政治の先覚原・犬養・尾崎ー【政界四十年の憶出(三)】『信濃往来』6-2、2月10日

普選と婦選『政界往来』22-2、2月10日

天下りの参与官任官ー苦戦を喫した青柳博士との対戦ー【政界四十年の憶出(四)】『信濃往来』6-3、3月10日

波瀾を捲起した“人民の名において”ー絢爛、なお印象にのこる即位大典ー【政界四十年の憶出(五)】『信濃往来』6-4、4月10日

日英親善の架け橋に！ー招かれて四十六年ぶりの訪英ー【政界四十年の憶出(六)】『信濃往来』6-5、5月10日【『植原悦二郎と日本国憲法』収録】

地方政界の古人今人ー立派な政治家百瀬渡、縁の下の力持ち田中彌助ー【政界四十年の憶出(七)】『信濃往来』6-6、6月10日

はき違えた民主政治の理念ー国会は理知と討論の府ー【特集 暴力国会と社会党】『経済時代』21-7、7月1日

訪英記『青淵』88、7月1日

日ソ国交回復の問題点と考え方『経済展望』28-7、7月3日

傑物だった・山本権兵衛ー往年の“模範選挙区”も今は昔の語り草ー【政界四十年の憶出(八)】『信濃往来』6-7、7月10日

昭和初頭政権変転の跡ー議会制度の肅正に示した山本条太郎の卓見ー【政界四十年の憶出(九)】『信濃往来』6-8、8月10日

相撲から文楽まで『経済時代』21-9、9月1日

犬養凶弾に殞れて憲政逆転ーいまも頭に残る地方政界の人々ー【政界四十年の憶出(10)】『信濃往来』6-9、9月10日

ジュネーヴの悲劇・四二対一人に乏しく言論機関なき松本ー【政界四十年の憶出(11)】『信濃往来』6-10、10月10日

桐一葉の秋に想うー自民党への疑問に応うー『政界往来』22-10、10月10日

政界浄化か陰謀か[「時局懇談会を解剖する」]『経済時代』21-11、11月1日

日・ソ交渉は大成功[「悪口雑言」]『実業界』120、11月1日

汚職の源は官尊民卑の風潮一想起す今井・折井・森山・唐沢・石田・畔田などの故人―[「政界四十年の憶出(12)」]『信濃往来』6-11、11月10日

日ソ交渉に協力した人を[「後継総裁をどう決める」]『山陽新聞』11月12日

政治的に無能だった斉藤・岡田両大将―二・二六事件前夜の中欧政局、そして松本の三女傑―[「政界四十年の憶出(13)」]『信濃往来』6-12、12月10日

## 1957(昭和32)年

下克上の軍部ついに憲政を蹂躪一民報・日報対立時代の松本言論界―[「政界四十年の憶出(14)」]『信濃往来』7-1、1月10日

日本の国際的地歩 “米国一辺倒” から東西に窓開く『講演時報』869、2月23日

へんぼん翻る国連本部の日章旗―国連総会に列しての印象―[「政界四十年の憶出(15)」]『信濃往来』7-2、2月10日

責任分担上、憲法の改正は当然[「国連加盟と共同防衛」]『経済時代』22-3、3月1日

国民に挑戦した林内閣の蛮勇―綿密周到を極めた陸軍首脳部の陰謀―[「政界四十年の憶出(16)」]『信濃往来』7-3、3月10日

期待を裏切った第一次近衛内閣一付、恩怨両道につながる北安曇の群像―[「政界四十年の憶出(17)」]『信濃往来』7-4、4月10日

軍部に強いられた“近衛声明”―印象に残る信州政治家あの人、この人―[「政界四十年の憶出(18)」]『信濃往来』7-5、5月10日

複雑怪奇を嘆じた“平沼内閣”―伊那谷で忘れ得ぬ政客群像―[「政界四十年の憶出(19)」]『信濃往来』7-6、6月10日

世界の緊張緩和の方途『経済時代』22-7、7月1日

権力に阿附する日本の政治家―多士濟々、諏訪地方の政客群像―[「政界四十年の憶出(20)」]『信濃往来』7-7、7月10日

本腹御活動を[「諸家の寄せられた芳信録」]『時局』224、8月1日

陸軍のボイコットで米内退く―印象に残る東信地方の政治家群像―[「政界四十年の憶出(21)」]『信濃往来』7-8、8月10日

惜まれる近衛公の第二次出廬―善光寺平の政財界人物群像をさぐる―[「政界四十年の憶出(22)」]『信濃往来』7-9、9月10日

亡国の因をなした日独伊三国同盟―原嘉道、塩野季彦氏ら北信地方の政客群像―[「政界四十年の憶出(23)」]『信濃往来』7-10、10月10日

奇怪を極めた近衛公の二面性格―貴人の弱さ、遂に陸軍に押切らる―[「政界四十年の憶出(24)」]『信濃往来』7-11、11月10日

緊迫した開戦前夜の国内様相―思い出は尽きぬ善光寺平の政治家群像―[「政界四十年の憶出(25)」]『信濃往来』7-12、12月10日

## 1958(昭和 33)年

- 国家千秋の恨事・東条内閣の出現―絢爛たる人材の園・名門小坂一族―[「政界四十年の憶出(26)」]『信濃往来』8-1、1月10日
- 言語に絶した選挙大干渉―遂に国家を破滅に導いた東条フワッシュ政府―[「政界四十年の憶出(27)」]『信濃往来』8-2、2月10日
- 世界平和の指導者たれ[「特集 岸政府の所信をただす郷土代表」]『信濃往来』8-3、3月10日
- 戦慄すべき軍人政治の因果―民主主義国家の構成を知らなかった東条英機―[「政界四十年の憶出(28)」]『信濃往来』8-4、4月10日
- 近衛公を擁して新党樹立工作―戦争終結に血道をあげた頃のいきさつ―[「政界四十年の憶出(29)」]『信濃往来』8-5、5月10日
- 国を亡ぼした軍人政治の末路―何たる皮肉、鈴木内閣の下で吉田茂氏等投獄さる―[「政界四十年の憶出(30)」]『信濃往来』8-6、6月10日
- 大東亜戦争終幕の前後―今尚腑に落ちぬマックの占領政策第一歩―[「政界四十年の憶出(31)」]『信濃往来』8-7、7月10日
- マッカーサーの占領政治構想―根本の狙いを“日本の民主化と自由開放”に置いて―[「政界四十年の憶出(32)」]『信濃往来』8-8、8月10日
- 嬉しかったこと・悲しかったこと―四十年を遡る初陣の出入りなど―[「政界四十年の憶出(33)」]『信濃往来』8-9、9月10日
- 現行日本国憲法制定の経緯―マッカーサーに押しつけられてこれを呑む―[「政界四十年の憶出(34)」]『信濃往来』8-10、10月10日
- 多くの欠点を蔵する日本国憲法―しかもその改正たるや容易なことでない―[「政界四十年の憶出(35)」]『信濃往来』8-11、11月10日
- 農地改革とその損害補填―農相和田博雄君と激論―ヶ月半に及んだが―[「政界四十年の憶出(36)」]『信濃往来』8-12、12月10日

## 1959(昭和 34)年

- \*[「政界四十年の憶出(37)」]『信濃往来』9-1、1月10日
- 天下の高人・西園寺公の倂―烈々たる尊王の血と併せ棲む偉大なる進歩的思想―[「政界四十年の憶出(38)」]『信濃往来』9-2、2月10日
- 公卿宰相の双幅西園寺と近衛―但しその心境と性格には天地霄壤の差があった―[「政界四十年の憶出(39)」]『信濃往来』9-3、3月10日
- 岡山県の三人男平沼・宇垣・犬養 [「政界四十年の憶出(40)」]『信濃往来』9-4、4月10日
- 聖断一下・天下の向背茲に定まる―慟哭悲泣・凄絶を極めたその前夜の御前会議―[「政界四十年の憶出(41)」]『信濃往来』9-5、5月10日
- 福祉国家の建設を 参院のあやまりを改める[「七候補の抱負 参院選県区・立会演説会から」]『信濃毎日新聞』5月14日
- ケロッグ不戦条約と私の進退 [「政界四十年の憶出(42)」]『信濃往来』9-6、6月10日



愉快だった“代議士”としての渡米 [「政界四十年の憶出(43)】『信濃往来』9-8、8月10日  
ふるさとを語る『経済時代』24-10、10月1日

### 1960(昭和35)年

学堂翁と日本の議会政治『尾崎記念講演集』14、12月15日

### 1961(昭和36)年

安保条約は確固不動!“国会”は話合いの場に—暴力絶滅が基本課題—『国会』14-1、1月1日

軍部と近衛内閣[「戦時議会の回顧】『世界と議会』2、6月15日

わが立志伝—青春時代の思い出を語る—(第一回) 波乱に満ちた欧米留学時代『経済時代』26-11、11月1日

[「これには弱った】『防衛と経済』57、12月1日

### 1962(昭和37)年

国会正常化の三大指標! 派閥と暴力と腐敗墮落の—掃へ—基盤条件は選挙界の清浄化—[「当面の焦点】  
『国会』15-4、4月1日

“常夏の国” フィジ島の地位—南太平洋の漁業基地に懸ける夢—『国会』15-9、10月1日

### 1963(昭和38)年

我が青春の回顧(遺稿)『国会』16-8、8月1日

**注記** 下記は凡例で言及した『国家及国家学』掲載の植原悦二郎の頭文字と思われる EU 生、E、U、生、E.U.生署名の18篇である。

断片評論『国家及国家学』1-2、1913年3月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-3、1913年4月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-4、1913年5月1日<EU生>

江木博士の『国家道德論】『国家及国家学』1-4、1913年5月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-5、1913年6月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-6、1913年7月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-7、1913年8月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-8、1913年9月1日<EU生>

時事漫言『国家及国家学』1-9、1913年9月15日<E、U、生>

断片評論『国家及国家学』1-10、1913年10月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-11、1913年11月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』1-12、1913年12月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』2-1、1914年1月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』2-2、1914年2月1日<EU生>

断片評論『国家及国家学』2-3、1914年3月1日<<E. U. 生>>

断片評論『国家及国家学』2-4、1914年4月1日<<EU生>>

米国の風俗『国家及国家学』3-4、1915年4月1日<<EU生>>

欧米の風俗『国家及国家学』3-5、1915年5月1日<<EU生>>

#### 4. 帝国議会議事速記録

\* 『官報号外 帝国議会議事速記録』は『官報号外』と略記し、『官報号外 帝国議会議事速記録』は『官報号外<貴族院>』と略記した。『委員会議事速記録』は、衆議院と貴族院の別を<衆議院><貴族院>で示し、委員会名のみを記した。

##### 第 39 回特別議會(1917 年 6 月 23 日～7 月 14 日)

臨時外交調査会を憲法違反とする決議案への反対意見、7 月 13 日(『官報号外』11、1917 年 7 月 14 日)  
國務大臣の答弁に対して意見陳述、7 月 14 日(『官報号外』12、1917 年 7 月 15 日)

##### 第 40 回通常議會(1917 年 12 月 27 日～1918 年 3 月 26 日)

衆議院議院選挙法中改正法律案について質問、3 月 7 日(『官報号外』20、1918 年 3 月 8 日)  
衆議院議院選挙法に関する委員長報告への反対意見、3 月 20 日(『官報号外』26、1918 年 3 月 21 日)

##### 第 41 回通常議會(1918 年 12 月 27 日～1919 年 3 月 26 日)

衆議院議院選挙法中改正法律案の提出理由の説明、1 月 28 日(『官報号外』7、1919 年 1 月 29 日)  
市制中改正法律案外 3 件の提出理由の説明、3 月 18 日(『官報号外』25、1919 年 3 月 19 日)  
陸海軍大臣、台湾総督、朝鮮総督、関東都督の文官任用について質問、3 月 25 日(『官報号外』29、1919 年 3 月 26 日)

##### 第 42 回通常議會(1919 年 12 月 26 日～1920 年 2 月 26 日)

衆議院議院選挙法中改正法律案の提案理由の説明、2 月 14 日(『官報号外』13、1920 年 2 月 15 日)

##### 第 43 回特別議會(1920 年 7 月 1 日～28 日)

政府の施政方針について質問、7 月 6 日(『官報号外』5、1920 年 7 月 7 日)  
衆議院議院選挙法中改正法律案の提案理由の説明および質問への答弁、7 月 12 日(『官報号外』9、1920 年 7 月 13 日)

##### 第 44 回通常帝国議会議事速記録(1920 年 12 月 27 日～1921 年 3 月 26 日)

軍備制限に関する決議案への賛成意見、2 月 10 日(『官報号外』12、1921 年 2 月 11 日)  
府県制、郡制、市制、町村制の改正法律案の提出理由の説明、2 月 23 日(『官報号外』18、1921 年 2 月 24 日)  
大正 9 年度歳入歳出総予算追加案への賛成意見、3 月 8 日(『官報号外』23、1921 年 3 月 9 日)  
徴兵令事務施行細則改正に関する建議案の提出理由の説明、3 月 12 日(『官報号外』26、1921 年 3 月 13 日)  
市制中改正法律案・町村制中改正法律案への反対意見、3 月 15 日(『官報号外』27、1921 年 3 月 16 日)  
航行中の船舶乗込船員の投票権行使に関する建議案の提出理由の説明、3 月 19 日(『官報号外』31、1921 年 3 月 20 日)

年 3 月 20 日)

陪審員制度に関する質問の答弁に関する意見、3 月 23 日(『官報号外』 33、1921 年 3 月 24 日)

#### **第 45 通常議会(1921 年 12 月 26 日～1922 年 3 月 25 日)**

国務大臣の演説に対する質問、1 月 24 日(『官報号外』 5、1922 年 1 月 25 日)

人身攻撃発言の撤回を求める発言、1 月 27 日(『官報号外』 19、1922 年 1 月 28 日)

一身上の弁明 (ワシントン会議の件)、3 月 2 日(『官報号外』 21、1922 年 3 月 3 日)

徴兵事務条例施行規則中改正に関する建議案の提出理由の説明、3 月 4 日(『官報号外』 22、1922 年 3 月 5 日)[「第四十五回帝国議会で提出された徴兵猶予者滞郷問題 植原悦二郎氏の説明」と題して『新世界』1922 年 5 月 13～16 日に転載]

陸海軍大臣任用の官制改正に関する建議案の提出理由の説明、3 月 6 日(『官報号外』 23、1922 年 3 月 7 日)

府県制中改正法律案について質問、3 月 7 日(『官報号外』 24、1922 年 3 月 8 日)

原蚕種の種類制限に関する建議案への質問、3 月 9 日(『官報号外』 26、1922 年 3 月 10 日)

治安警察法中改正法律案について発言、3 月 18 日(『官報号外』 32、1922 年 3 月 19 日)

国籍法中改正に関する建議案の提出理由の説明、3 月 22 日(『官報号外』 33、1922 年 3 月 23 日)[「米国出生児ニ重国籍に關する国籍法改正建議案帝国議會に於ける植原悦二郎氏の説明」と題して『新世界』1922 年 5 月 17～19 日に転載]

#### **第 46 回通常議会(1922 年 12 月 27 日～1923 年 3 月 26 日)**

農村振興に関する建議案について質問、2 月 3 日(『官報号外』 8、1923 年 2 月 4 日)

陸軍軍備の整理縮小に関する決議案賛成意見、2 月 12 日(『官報号外』 12、1923 年 2 月 13 日)

議事進行について発言、2 月 13 日(『官報号外』 13、1923 年 2 月 14 日)

国籍法中改正法律案の提出理由の説明、2 月 22 日(『官報号外』 18、1923 年 2 月 23 日)

産業組合中央金庫法案に対する修正案提出の理由説明、3 月 3 日(『官報号外』 24、1923 年 3 月 4 日)

#### **第 47 回臨時議会(1923 年 12 月 11～23 日)**

復興問題全般について質問、12 月 13 日(『官報号外』 3、1923 年 12 月 14 日)

議事進行について発言、12 月 20 日(『官報号外』 7、1923 年 12 月 21 日)

保険会社に対する貸付金に関する法律案外 1 件の委員会の審議中止に対して議長の処置を希望する発言、12 月 23 日(『官報号外』 9、1923 年 12 月 24 日)

保険会社に対する貸付金に関する法律案外 1 件の委員長報告への反対演説、12 月 23 日(『官報号外』 9、1923 年 12 月 24 日)

#### **第 49 回特別議会(1924 年 6 月 28 日～7 月 18 日)**

米国新移民法に関する決議案への賛成演説、7 月 1 日(『官報号外』 3、1924 年 7 月 2 日)

国籍法中改正法律案の提出理由の説明、7 月 5 日(『官報号外』 6、1924 年 7 月 6 日)

国籍法中改正法律案および戸籍法中改正法律案の委員長報告、7 月 11 日(『官報号外』 9、1924 年 7 月 12

日)

米国排日移民立法に関する意見陳述、7月17日(『官報号外』13、1924年7月18日)

#### **第50回帝国議会(1924年12月26日～1925年3月30日)**

水力電気に関する答弁、1月27日(『官報号外<貴族院>』5号、1925年1月27日)

簡易保険に関する答弁 3月2日(『官報号外<貴族院>』17、1925年3月2日)

北海道拓殖政策に関する質問に対する逓信省所管事項についての答弁、3月3日(『官報号外』22、1925年3月4日)

港湾行政統一に関する質問に対する逓信省所管事項についての答弁、3月10日(『官報号外』25、1925年3月11日)

逓信省補助航路船舶沈没に関する緊急質問に対する答弁、3月17日(『官報号外』28、1925年3月18日)

電気事業者の取締に関する緊急質問について書面による答弁の旨の発言、3月17日(『官報号外』28、1925年3月18日)

支那における帝国法人の所有する船舶等に関する法律案の提出理由の説明、3月17日(『官報号外』28、1925年3月18日)

支那に対する帝国法人の所有する船舶等に関する建議案の説明、3月23日(『官報号外<貴族院>』27、1925年3月23日)

#### **第51回通常議会(1925年12月26日～1926年3月25日)**

対支文化事業特別会計法中改正法律案に関する質問、2月13日(『官報号外』15、1926年2月14日)

北海道会法中改正法律案に対する修正意見の陳述、3月6日(『官報号外』31、1926年3月7日)

大正15年度歳入歳出総予算追加案に対する修正案提出理由の説明、3月23日(『官報号外』35、1926年3月24日)

#### **第52回通常議会(1926年12月26日～1927年3月25日)**

対支外交について外相に質問、1月25日(『官報号外』7、1927年1月26日)

海外移住組合法案について質問、2月24日(『官報号外』17、1927年2月25日)

電気事業法中改正法律案に関する質問、3月3日(『官報号外』20、1927年3月4日)

土地賃貸価格調査委員会法案の委員長報告に対する反対意見、3月4日(『官報号外』21、1927年3月5日)

大町糸魚川間鉄道速成に関する建議案提出について発言、3月11日(『官報号外』24、1927年3月12日)

#### **第56回通常議会(1928年12月26日～1929年3月25日)**

対支外交問題について答弁、1月26日(『官報号外』7、1929年1月27日)

膠州湾旧租借地引渡しに関する条約実施に伴う損害の補償に関する法律案への質問に対する答弁、3月18日(『官報号外』35、1929年3月19日)

米国移民法等に関する質問への答弁、3月23日(『官報号外』40、1929年3月24日)

### 第 67 回通常議会(1934 年 12 月 26 日～1935 年 3 月 25 日)

議院法中改正法律案の趣旨説明、3 月 6 日(『官報号外』23、1935 年 3 月 7 日)

議員尾崎行雄表彰動議の説明、3 月 16 日(『官報号外』28、1935 年 3 月 17 日)

衆議院 30 年在職議員表彰動議の説明、3 月 16 日(『官報号外』28、1935 年 3 月 17 日)

### 第 68 回通常議会(1935 年 12 月 26 日～1936 年 1 月 21 日)

副議長としての議会進行発言、12 月 27 日(『官報号外』2、1935 年 12 月 28 日)

### 第 70 回通常議会(1936 年 12 月 26 日～1937 年 3 月 31 日)

故議員畔田明への哀悼演説、12 月 27 日(『官報号外』2、1936 年 12 月 28 日)

林首相兼外相への質問、2 月 15 日(『官報号外』5、1937 年 2 月 16 日)

### 第 74 回通常議会(1938 年 12 月 26 日～1939 年 3 月 25 日)

大糸線信濃森上、南小谷両駅間に停車場設置の件に関する質疑『<衆議院>請願委員第四分科(司法省、文部省及鉄道省所管)』4、1939 年 3 月 1 日

博覽會法制定に関する建議案の提案理由説明『<衆議院>建議委員会』8、1939 年 3 月 11 日

委員長としての議事運営に関する発言『<衆議院>国際電気通信株式会社法中改正法律案委員会』1～8、10～14、1939 年 3 月 6～11、13、14、16～18、20、24 日

国際電気通信株式会社法中改正法律案委員長報告、3 月 16 日(『官報号外』26、1939 年 3 月 17 日)

大日本航空会社法案委員長報告、3 月 20 日(『官報号外』28、1939 年 3 月 21 日)

### 第 75 回通常議会(1939 年 12 月 26 日～1940 年 3 月 26 日)

大糸線信濃森上、南小谷両駅間に停車場設置の請願に関する質疑『<衆議院>請願委員第四分科(司法省、文部省及鉄道省所管)』1、1940 年 2 月 12 日

納内、下蘆別間鐵道敷設の請願に関する質疑『<衆議院>請願委員第四分科(司法省、文部省及鉄道省所管)』3、1940 年 3 月 23 日

### 第 76 回通常議会(1940 年 12 月 26 日～1941 年 3 月 25 日)

南小谷村字倉下に停車場設置の請願に関する質疑『<衆議院>請願委員第四分科(司法省、文部省及鉄道省所管)』2、1941 年 2 月 12 日

蠶絲業統制法案に関する質疑『<衆議院>蚕糸業統制法案委員会』4、8、1941 年 2 月 14、19 日

帝国燃料興業株式会社の事業成績等に関する質疑『<衆議院>昭和十二年法律第九十二号中改正法律案(輸出入品等に関する臨時措置に関する件)委員会』10、1941 年 2 月 18 日

大政翼賛会補助金不承諾の趣旨弁明、2 月 27 日(『官報号外』19、1941 年 2 月 28 日)

### 第 79 回通常議会(1941 年 12 月 26 日～1942 年 3 月 25 日)

外交政策等について質疑『<衆議院>予算委員会』5、1942 年 1 月 26 日

大政翼賛会の廃止等について質疑『<衆議院>予算委員会』8、1942 年 1 月 29 日

農業団体に関連して地方自治等について質疑『<衆議院>予算委員第二分科（内務省及厚生省所管）』1、1942 年 1 月 31 日

日満農民問題に關連して質疑『<衆議院>予算委員第五分科（農林省、商工省及拓務省所管）』2、1942 年 2 月 1 日

治水利水政策の確立に關する建議案に關する質疑『<衆議院>建議委員会』3、1942 年 2 月 7 日

### 第 90 回臨時議会(1946 年 6 月 20 日～10 月 11 日)

請願に關する質問への答弁(『<衆議院>請願委員会』2、1946 年 7 月 13 日)

議員在職二十五年に及ぶ憲政への積年の功勞に対する院議による顕彰に対する謝辞、8 月 1 日(『官報号外』23、1946 年 8 月 2 日)

所得税法の一部を改正する等の法律案に關する質問への答弁(『<衆議院>所得税法の一部を改正する等の法律案外二件委員会』7、1946 年 8 月 10 日)

帝国憲法改正案に關する質問への答弁、8 月 30 日(『官報号外<貴族院>』27、1946 年 9 月 1 日)[清水伸編『逐条日本国憲法審議録 第 1 卷』(有斐閣、1962 年)第二章「帝国憲法改正の理由」収録、同書から『植原悦二郎と日本国憲法』転載]

国体に關する質問への答弁(『<貴族院>帝国憲法改正案特別委員会』2、1946 年 9 月 2 日)[清水伸編『逐条日本国憲法審議録 第 1 卷』(有斐閣、1962 年)第二章「帝国憲法改正の理由」収録、同書から『植原悦二郎と日本国憲法』転載]

帝国憲法改正案に關する質問への答弁(『<貴族院>帝国憲法改正案特別委員会』19、24、1946 年 9 月 21 日、10 月 3 日)

### 第 91 回臨時議会(1946 年 11 月 26 日～12 月 25 日)

民主政治と政党に關する意見、12 月 4 日(『官報号外<貴族院>』5、1946 年 12 月 5 日)

參議院議員選挙法案に關する質問への答弁(『<貴族院>參議院議員選挙法案特別委員会』2～4、1946 年 12 月 5～7 日)

内閣法案の説明および質問への答弁(『<衆議院>内閣法案委員会』2～4、1946 年 12 月 10～13 日)

追放問題・内閣法に關する質問への答弁、12 月 19 日(『官報号外<貴族院>』7、1946 年 12 月 20 日)

内閣法案に關する質問への答弁(『<衆議院>国会法案委員会』2、1946 年 12 月 20 日)

内閣法案に關する質問への答弁(『<貴族院>内閣法案特別委員会』1、2、1946 年 12 月 20 日、21 日)

国会法案に關する質問への答弁、12 月 22 日(『官報号外<貴族院>』9、1946 年 12 月 23 日)

国会法案に關する質問への答弁(『<貴族院>国会法案特別委員会』2、3、1946 年 12 月 23、24 日)

地方自治に關する質問への答弁、12 月 24 日(『官報号外』17、1946 年 12 月 25 日)

### 第 92 回通常議会(1946 年 12 月 28 日～1947 年 3 月 31 日)

教育と文化の刷新振興に關する質問への答弁、2 月 14 日(『官報号外<貴族院>』2、1947 年 2 月 15 日)

地方分権に關する質問への答弁、2 月 15 日(『官報号外』3、1947 年 2 月 16 日)

閣取引に関する質問への答弁、2月17日(『官報号外』4、1947年2月18日)

選挙法等引に関する質問への答弁、2月18日(『官報号外』5、1947年2月19日)

朝鮮及び台湾人に関する質問等への答弁、2月18日(『官報号外<貴族院>』5、1947年2月19日)

閣取引取締に関する質問への答弁、2月19日(『官報号外』6、1947年2月20日)

府県制、行政民主化、公共学校教員給与に関する質問への答弁、2月20日(『官報号外』7、1947年2月21日)

労働問題に関する質問への答弁、2月21日(『官報号外』8、1947年2月22日)

閣物資に関する質問等への答弁、2月21日(『官報号外<貴族院>』8、1947年2月22日)

参議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案理由及び法案中主要事項概要説明、3月5日(『官報号外』12、1947年3月6日)

選挙制度等に関する質問への答弁(『<衆議院>予算委員会議事速記録』4、1947年3月6日)

参議院議員選挙法の一部を改正する法律案の要旨及び主要事項の説明および質問への答弁(『<衆議院>参議院議員選挙法の一部を改正する法律外一件委員会』2、1947年3月6日)

閣取引に関する質問への答弁(『<衆議院>予算委員会』5、1947年3月7日)

労働基準法案に関する質問への答弁、3月8日(『官報号外』14、1947年3月9日)

選挙公営に関する質問への答弁(『<衆議院>予算委員会』7、1947年3月10日)

労働基準法案に関する質問への答弁、3月10日(『官報号外』15、1947年3月11日)

地方財政の確立に関する質問への答弁(『<衆議院>予算委員会』8、1947年3月11日)

参議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案理由及び主要事項概要説明、3月11日(『官報号外<貴族院>』14、1947年3月12日)

参議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問等への答弁(『<貴族院>参議院議員選挙法の一部を改正する法律案特別委員会』2、1947年3月12日)

選挙法改正に関する質問への答弁(『<衆議院>予算委員会』9、1947年3月12日)

内務省所管昭和22年度予算の概要説明(『<衆議院>予算委員第一分科会(外務省、内務省)』1、1947年3月13日)

参議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁、3月13日(『官報号外<貴族院>』16、1947年3月14日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案趣旨及び概要説明、3月13日(『官報号外』17、1947年3月14日)

追放令等に関する質問への答弁(『<衆議院>予算委員第一分科会(外務省、内務省)』2、1947年3月14日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案の趣旨及び主要事項の説明、関連質問への答弁(『<衆議院>衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案委員会』1、1947年3月14日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁(『<衆議院>衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案委員会』2、1947年3月15日)

議会解散に関する質問への答弁、3月15日(『官報号外』18、1947年3月16日)

地方自治法案の提案理由及び主要事項概略説明、3月17日(『官報号外』19、1947年3月18日)

地方自治法案の趣旨説明(『<衆議院>地方自治法案委員会』1、1947年3月18日)

治水計画に関する質問等への答弁(『<貴族院>予算委員会』3、4、1947年3月18、19日)

地方税法の一部を改正する法律案及び地方分與税法を改正する法律案の提案理由説明、3月18日(『官報号外』20、1947年3月19日)



現下の世相等に関する質問への答弁、3月18日(『官報号外<貴族院>』18、1947年3月19日)

北海道の開発に関する質問等への答弁(『<貴族院>予算委員会』5、1947年3月20日)

衆議院における地方自治法案修正中の主要な事項について説明(『<貴族院>地方自治法案特別委員会』1、1947年3月23日)

地方自治法案の提案理由及び主要事項概略説明、3月23日(『官報号外<貴族院>』22、1947年3月24日)

治安問題に関する質問等への答弁(『<貴族院>予算委員第三分科会(内務省、文部省、厚生省)』1、1947年3月24日)

地方自治法案に関する質問等への答弁(『<貴族院>地方自治法案特別委員会』3、1947年3月25日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁(『<衆議院>衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案委員会』7、8、1947年3月25、26日)

地方自治法案に関する質問等への答弁(『<貴族院>地方自治法案特別委員会』5、1947年3月27日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁(『<衆議院>衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に対する修正案外三件委員会』1、2、1947年3月28、29日)

地方自治に関する所信演説、3月28日(『官報号外<貴族院>』26、1947年3月29日)

用紙の増産と適正なる配給等に関する質問への答弁(『<衆議院>決算委員会』12、1947年3月29日)

地方税法の一部を改正する法律案及び地方分與税法を改正する法律案の提案理由の説明、3月29日(『官報号外<貴族院>』27、1947年3月30日)

隠退蔵物資に関する質問への答弁(『<衆議院>特別調達庁法案委員会』2、1947年3月30日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁、3月30日(『官報号外』31、1947年3月31日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁(『<貴族院>衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案特別委員会』1、1947年3月31日)

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案趣旨及び概要説明、3月31日(『官報号外<貴族院>』29、1947年4月1日)

## 5. 国会会議録

\* 『官報号外 国会衆議院会議録』は『官報号外』と略記し、『衆議院委員会議録』は、委員会名のみを記した。

### 第1回特別国会(1947年5月20日～12月9日)

自由討議の運用について発言『官報号外』15、1947年7月10日

臨時石炭鉱業管理法案について発言『官報号外』38、1947年9月30日

予算修正における政府の責任について質問『予算委員会』11、1947年10月11日

所得税法の一部を改正する等の法律案について質問『予算委員会』22、1947年11月15日

### 第2回通常国会(1947年12月10日～1948年7月5日)

国務大臣の質問に対する質問『官報号外』5、6、1948年1月23、24日

災害復旧費について質問『予算委員会』12、1948年3月30日

芦田内閣の与党政策協定について質問『予算委員会』13、14、1948年3月31日、4月1日

石炭国家管理法案における指定鉱山について質問『予算委員会』23、1948年5月22日

外資導入問題、健全財政等について質問『官報号外』59、1948年6月9日

閣議決定と国会の審議権について質問『予算委員会』32、1948年6月14日

軍事公債利払問題について質問『予算委員会』34、1948年6月16日

外資導入等について質問『予算委員会』36、1948年6月21日

石炭問題について質問『予算委員会』40、1948年6月25日

新憲法下における政府の責任について発言『予算委員会』44、1948年7月2日

### 第3回臨時国会(1948年10月11日～11月30日)

石炭国管問題について証人発言『不当財産取引調査特別委員会』4、1948年10月14日

### 第4回通常国会(1948年12月1～23日)

内閣不信任案に対して反対意見の表明『官報号外』21、1948年12月23日

### 第5回特別国会(1949年2月11日～5月31日)

委員長としての議事運営発言『予算委員会』1～18、1949年3月19、28、30、31日、4月5、7～9、11～14、16、26日、5月7、14、23日、9月16日、10月20日

予算委員会委員長報告『官報号外』9、1949年3月31日

委員長としての議事運営発言『予算委員会公聴会』1、1949年4月11日

予算委員会委員長報告『官報号外』18、1949年4月16日

現内閣の蚕糸業対策に関する緊急質問『官報号外』29、1949年5月14日

### **第6回臨時国会(1949年10月25日～12月3日)**

委員長としての議事運営発言『予算委員会』1～9、1949年11月14、16～19、21～26日

予算委員会委員長報告『官報号外』17、1949年11月26日

### **第7回通常国会(1949年12月4日～1950年5月2日)**

予算委員会委員長としての発言『予算委員会』1～32、1949年12月20日、1950年1月25、30、31日、  
2月1～3、6～9、13～16、20、27日、3月2～4、6～9、20、22～25、27日、5月2日

委員長としての議事運営発言『予算委員会公聴会』1、1950年2月10、11日

予算委員会委員長報告『官報号外』24、1950年3月10日

予算委員会委員長報告『官報号外』31、1950年3月28日

内閣不信任決議案に対する反対意見の表明『官報号外』46、1950年5月1日

### **第8回臨時国会(1950年7月12～31日)**

朝鮮動乱に対する見通しについて質問『外務委員会』2、1950年7月21日

自衛権の発動について質問『外務委員会』4、1950年7月26日

### **第9回臨時国会(1950年11月21日～12月9日)**

「朝鮮動乱とわれらの立場」(外務省情報部)について発言『外務委員会』2、1950年11月29日

日本における朝鮮人の暴動について質問『外務委員会』3、1950年12月2日

### **第10回通常国会(1950年12月10日～1951年6月5日)**

南阿連邦の日本に対する関税について発言『外務委員会』7、1951年2月28日

米国移民法の改正に関する外務省の所見について質問『外務委員会』10、1951年3月20日

ダグラス・マツカーサー元帥に対する感謝決議案の提出の理由説明『官報号外』30、1951年4月16日

領土問題に関する決議案提出の趣旨弁明『官報号外』46、1951年6月2日

### **第12回臨時国会(1951年10月10日～11月30日)**

委員長選出に関する議事進行発言『平和条約及び日米安全保障条約特別委員会』1、1951年10月11日

B29墜落事件に関連して質問『外務委員会』10、1951年11月27日

### 第13回通常国会(1951年12月10日～7月31日)

ボツダム宣言の受諾に伴い発する命令に基く外務省関係諸命令の措置に関する法律案に関する議事について発言『外務委員会』12、1952年3月25日

国際連合加盟に関する質問『外務委員会』17、1952年4月2日

新外務大臣への要望『外務委員会』23、1952年5月7日

国際復興開発銀行協定・国際通貨基金協定への加入問題に関連して質問『外務委員会』25、1952年5月21日

北太平洋の公海漁業に関する国際条約及び北太平洋の公海漁業に関する国際条約附属議定書の締結に関する質問『外務・水産委員会連合審査会』2、1952年6月11日

インドとの平和条約に関連して発言『外務委員会』31、1952年6月11日

議事進行について発言『外務委員会』33、1952年6月13日

発言引用の曲解について発言『外務委員会』35、1952年6月16日

### 第14回通常国会(1952年8月26～28日)

新議長に対する祝辞及び前議長に対する謝辞『官報号外』1、1952年8月26日

### 第15回特別国会(1952年10月24日～1953年3月14日)

保安隊に関連してポリス・パワーとミリタリー・パワーについて質問『外務委員会』4、1952年12月1日

国連加盟、自衛問題、朝鮮動乱等について質問『予算委員会』7、1952年12月4日

アイゼンハウアーの朝鮮訪問に関して緊急質問『外務委員会』6、1952年12月6日

外務省の予算編成等について発言『外務委員会』14、1953年2月4日

ヤルタ協定、文民について発言『外務委員会』17、1953年2月14日

日ソ・日韓関係に関する質問『外務委員会』19、1953年2月21日

安全保障問題に関する質問『外務委員会』20、1953年2月25日

国際情勢等に関する質問『外務委員会』23、1953年3月11日

### 第22回特別国会(1955年3月18日～1955年7月30日)

委員長としての議事運営発言『外務委員会』1～39、1955年3月25、31日、4月6日、5月6、11、14、18、25、26、28、30、31日、6月1、4、8、11、13、15～17、21、22、25、29日、7月2、6、9、13～16、19、20、23、25～27、30日

発言者の指名『内閣・商工委員会連合審査会』1、1955年5月26日

外務委員会委員長報告『官報号外』21、1955年5月31日

外務委員会委員長報告『官報号外』28、1955年6月14日

外務委員会委員長報告『官報号外』29、1955年6月16日

委員長としての議事運営発言『外務・農林水産・商工委員会連合審査会』1、1955年6月18日

外務委員会委員長報告『官報号外』31、1955年6月21日

委員長としての議事運営発言『外務・農林水産委員会連合審査会』1、1955年7月12日

外務委員会委員長報告『官報号外』44、1955年7月21日

外務委員会委員長報告『官報号外』48、1955年7月27日

### **第23回臨時国会(1955年11月22日～1956年12月16日)**

委員長としての議事運営発言『外務委員会』1～3、1955年11月30日、12月3、5日

委員長辞任挨拶外務委員会』4、1955年12月7日

国際連合加盟問題に関連して質問『外務委員会』7、1955年12月10日

### **第24回通常国会(1955年12月20日～1956年6月3日)**

日ソ交渉について質問『外務委員会』60、1956年7月23日

千島列島の問題について質問『外務委員会』62、1956年8月27日

日ソ国交正常化問題等に関する質問『外務委員会』63、1956年8月30日

### **第25回臨時国会(1956年11月12日～12月13日)**

委員長としての議事運営発言『日ソ共同宣言等特別委員会』1～9、1956年11月17、19～22、24～27日

日ソ共同宣言等特別委員長としての報告『官報号外』7、1956年11月27日

### **第26回(1956年12月20日～1957年5月19日)**

領事館制度、大使館、日韓国交正常化、日中関係改善、インドネシア賠償問題、中東問題について質問『外務委員会』4、1957年2月20日

### **第27回臨時国会(1957年11月1～14日)**

委員長としての議事運営発言『公職選挙法改正に関する調査特別委員会』1、1957年11月1日

移動大使の問題について発言『外務委員会』3、1957年11月8日

### **第28回通常国会(1957年12月20日～1958年4月25日)**

国務大臣の演説に対する質疑『官報号外』5、1958年1月30日